

令和 8 年度しずかの里防水等改修工事



タイル工事	3	陶磁器質タイル張り	施工方法 ・ 図示 ・ 外壁 ・ 小口タイル ・ 二丁掛タイル 駆体表面処理 ・ MCR工法 MCR工法の仕様はシート製造所もしくは販売店の仕様による。 施工箇所駆体の増打ちは、図示による。 ・ 目荒し工法 高圧水洗による目荒しは、5.0N/mm <sup>2</sup> の水圧で2.5分/㎡程度とし、仕上がりの程度は監督職員の承諾を受ける。 施工箇所駆体の増打ちは、図示による。 下地モルタル塗 ※モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ 行わない ポリマーセメントモルタルの割合は、1.5. 2. 3 (b) による。 工法 ※密着工法 ・ 圧着工法
	4	その他	

木工事	1	木材の断面寸法	※木材の断面を表示する寸法は、引出し線で部材断面(横寸法×縦寸法)が示されている場合はひき立て寸法とし、寸法線で部材寸法が記入されている場合は仕上がり寸法とする。																																																
	2	木材	木材の品質 ※日本農林規格品(JAS) <table border="1"> <tr> <th>使用樹種</th> <th>造作材</th> <th>構造材、下地材</th> </tr> <tr> <td>・ 米桐 ・ ・</td> <td>・ 米桐 ・ ・</td> <td>・ 米桐 ・ 米松 ・ 桧</td> </tr> </table> ※構造材及び下地材の等級は下記による。 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>化粧の場合の和室の柱の見掛けり</td> <td>※上小節</td> <td>針葉樹の造作用製材 心持材の場合は背割りを行う</td> </tr> <tr> <td>小節材及び目木受けが丸太の場合</td> <td>※2等</td> <td>素材 皮はき材</td> </tr> <tr> <td>上記以外の構造材及び下地材</td> <td>※2級</td> <td>針葉樹の構造用製材 針葉樹の下地用製材</td> </tr> </table> ※造作材の等級は下記による。 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>部材名称</th> <th>※A種</th> <th>※B種</th> </tr> <tr> <td>生地のまま又は透明塗料塗りの場合</td> <td>格、級、敷居、鴨居、柱の類</td> <td>上小節(見掛けり面)</td> <td>小節</td> </tr> <tr> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>押入、戸棚等の内面造作の類</td> <td>小節</td> <td>小節</td> </tr> </table> ※樹種は図内特記による他は、下記による。 ※代用樹種の使用 ※認める ※認めない <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>樹種</th> <th>代用樹種</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造材</td> <td>・ 杉</td> <td>ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、から松、米松、米つが</td> </tr> <tr> <td>・ 杉</td> <td>もみ、つが、米つが、米とうひ、米赤杉、米もみ、えぞ松、とど松</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">造作材</td> <td>・ 杉</td> <td>ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ</td> </tr> <tr> <td>・ 杉</td> <td>もみ、米とうひ、米つが、米もみ、えぞ松(米杉及び米赤杉)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下地材、壁、天井下地、野地板、軒回り材、畳下、下張用床板等</td> <td>・ 杉</td> <td>ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、米つが</td> </tr> <tr> <td>・ 杉</td> <td>もみ、つが、えぞ松、とど松、米つが、米もみ、米赤杉、ソ連えぞ松、米杉</td> </tr> </table> (注) 造作材の(米杉及び米赤杉)は、不透明塗料塗りをする場合に限り代用できる。 ・ 構造用合板 F☆☆☆☆	使用樹種	造作材	構造材、下地材	・ 米桐 ・ ・	・ 米桐 ・ ・	・ 米桐 ・ 米松 ・ 桧	使用箇所	等級	備考	化粧の場合の和室の柱の見掛けり	※上小節	針葉樹の造作用製材 心持材の場合は背割りを行う	小節材及び目木受けが丸太の場合	※2等	素材 皮はき材	上記以外の構造材及び下地材	※2級	針葉樹の構造用製材 針葉樹の下地用製材	使用箇所	部材名称	※A種	※B種	生地のまま又は透明塗料塗りの場合	格、級、敷居、鴨居、柱の類	上小節(見掛けり面)	小節	不透明塗料塗りの場合	押入、戸棚等の内面造作の類	小節	小節	区分	樹種	代用樹種	構造材	・ 杉	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、から松、米松、米つが	・ 杉	もみ、つが、米つが、米とうひ、米赤杉、米もみ、えぞ松、とど松	造作材	・ 杉	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ	・ 杉	もみ、米とうひ、米つが、米もみ、えぞ松(米杉及び米赤杉)	下地材、壁、天井下地、野地板、軒回り材、畳下、下張用床板等	・ 杉	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、米つが	・ 杉	もみ、つが、えぞ松、とど松、米つが、米もみ、米赤杉、ソ連えぞ松、米杉
	使用樹種	造作材	構造材、下地材																																																
	・ 米桐 ・ ・	・ 米桐 ・ ・	・ 米桐 ・ 米松 ・ 桧																																																
	使用箇所	等級	備考																																																
	化粧の場合の和室の柱の見掛けり	※上小節	針葉樹の造作用製材 心持材の場合は背割りを行う																																																
	小節材及び目木受けが丸太の場合	※2等	素材 皮はき材																																																
上記以外の構造材及び下地材	※2級	針葉樹の構造用製材 針葉樹の下地用製材																																																	
使用箇所	部材名称	※A種	※B種																																																
生地のまま又は透明塗料塗りの場合	格、級、敷居、鴨居、柱の類	上小節(見掛けり面)	小節																																																
不透明塗料塗りの場合	押入、戸棚等の内面造作の類	小節	小節																																																
区分	樹種	代用樹種																																																	
構造材	・ 杉	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、から松、米松、米つが																																																	
	・ 杉	もみ、つが、米つが、米とうひ、米赤杉、米もみ、えぞ松、とど松																																																	
造作材	・ 杉	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ																																																	
	・ 杉	もみ、米とうひ、米つが、米もみ、えぞ松(米杉及び米赤杉)																																																	
下地材、壁、天井下地、野地板、軒回り材、畳下、下張用床板等	・ 杉	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、米つが																																																	
	・ 杉	もみ、つが、えぞ松、とど松、米つが、米もみ、米赤杉、ソ連えぞ松、米杉																																																	
3	床張り用合板及びその他の合板	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>有効断面係数比</th> <th>表板の樹種名</th> <th>表板の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>腰壁</td> <td>12.0</td> <td>・ 特類 ※1類</td> <td>・ 1級 ※2級</td> <td></td> <td>ラワン</td> <td>※C-D</td> <td>・ する ・ しない</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	有効断面係数比	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	間伐材等の適用	腰壁	12.0	・ 特類 ※1類	・ 1級 ※2級		ラワン	※C-D	・ する ・ しない	・																															
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	有効断面係数比	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																											
腰壁	12.0	・ 特類 ※1類	・ 1級 ※2級		ラワン	※C-D	・ する ・ しない	・																																											
4	防蟻処理	・ 行わない ※行う ( )																																																	
5	防湿処理	※行わない ・ 行う ( )																																																	
6	防虫処理	・ 行わない ※行う (ラワン材を使用する場合、JAS規格品の保存処理K1)																																																	
7	その他	・ 接着剤は可塑性(難揮発性の可塑性を除く)が添加されていないものとする。																																																	

屋根工事	1	長尺金属板葺	<table border="1"> <tr> <th>屋根葺き形式</th> <th>参考メーカー名</th> <th>材種</th> <th>板厚(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 平葺</td> <td></td> <td>※塗装済鉛めっき鋼板</td> <td>一般部</td> </tr> <tr> <td>・ 瓦葺</td> <td></td> <td>・ カラーガルバリウム鋼板</td> <td>・ 0.35 ※0.4</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・ 塗装済鉛めっき5%アルミ合金めっき鋼板</td> <td>・ 0.6</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td>谷部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td>・ 0.3 ※0.4</td> </tr> </table>	屋根葺き形式	参考メーカー名	材種	板厚(mm)	・ 平葺		※塗装済鉛めっき鋼板	一般部	・ 瓦葺		・ カラーガルバリウム鋼板	・ 0.35 ※0.4	・		・ 塗装済鉛めっき5%アルミ合金めっき鋼板	・ 0.6	・		・	谷部	・		・	・ 0.3 ※0.4																	
	屋根葺き形式	参考メーカー名	材種	板厚(mm)																																								
	・ 平葺		※塗装済鉛めっき鋼板	一般部																																								
	・ 瓦葺		・ カラーガルバリウム鋼板	・ 0.35 ※0.4																																								
	・		・ 塗装済鉛めっき5%アルミ合金めっき鋼板	・ 0.6																																								
・		・	谷部																																									
・		・	・ 0.3 ※0.4																																									
2	折板葺	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>板厚(mm)</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>軒先面戸板</th> <th>断熱材</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・ 塗装済鉛めっき鋼板</td> <td>※0.6</td> <td>山高 165mm</td> <td>・ 重ね形</td> <td>・ 有り</td> <td>・ 無し</td> <td>・ 30分耐火</td> </tr> <tr> <td>・ カラーガルバリウム</td> <td>・ 0.8</td> <td>ヒッチ</td> <td>・ はげめ形</td> <td>・ 無し</td> <td>・</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ かん合形</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 専門工事業者 屋根葺き専門工事業者 ※製造所の指定業者とする。 発注E17/1	材料	板厚(mm)	寸法	形式	軒先面戸板	断熱材	耐火性能	・ 塗装済鉛めっき鋼板	※0.6	山高 165mm	・ 重ね形	・ 有り	・ 無し	・ 30分耐火	・ カラーガルバリウム	・ 0.8	ヒッチ	・ はげめ形	・ 無し	・	・ 無し	・	・	・	・ かん合形	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
材料	板厚(mm)	寸法	形式	軒先面戸板	断熱材	耐火性能																																						
・ 塗装済鉛めっき鋼板	※0.6	山高 165mm	・ 重ね形	・ 有り	・ 無し	・ 30分耐火																																						
・ カラーガルバリウム	・ 0.8	ヒッチ	・ はげめ形	・ 無し	・	・ 無し																																						
・	・	・	・ かん合形	・	・	・																																						
・	・	・	・	・	・	・																																						
・	・	・	・	・	・	・																																						
3	とい	材種 ・ 配管用銅管 ・ 炭素鋼製ニッケル管(VP) ・ カラーVU ・ ステンレス既製品 銅管製といの防露 ・ 行う(表13.6.5) ・ 行わない ※屋内のみ行う とい受け金物 ※市販品(表13.6.2)																																										
4	銅管製といの防露巻工法等の処理	防露部 ステンレス(SUS304、厚さ0.2mm)で被覆する 表13.6.5 高さ(mm) 床 ※150mm 天井 ※30mm 防露を行わない場合 ステンレス製シーリングプレートを取り付ける(床、天井共) ・ スレート波板葺、粘土瓦葺については共通仕様書による。																																										
5	その他																																											

金属工事	1	あと施工アンカー	引抜き耐力の確認試験 ※機械的簡易引試験機 ※設計用引張強度：メーカーによりアンカー筋の母材強度が保証されたもの ・ 接着系(ポリエステル系、エポキシアクリレート系、エポキシ系)																																							
	2	ステンレスの表面仕上げ	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※HL程度</td> <td>柱脚口木</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 2B程度</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 鏡面仕上げ</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	施工箇所	種類	施工箇所	※HL程度	柱脚口木	・	・	・ 2B程度	・	・	・	・ 鏡面仕上げ	・	・	・																							
	種類	施工箇所	種類	施工箇所																																						
	※HL程度	柱脚口木	・	・																																						
	・ 2B程度	・	・	・																																						
	・ 鏡面仕上げ	・	・	・																																						
	3	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>表面処理</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ B-1種(無着色)</td> <td>無着色陽極酸化塗装複合皮膜(9+7)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ B-2種(カラー)</td> <td>着色陽極酸化塗装複合皮膜(9+7)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>B-2種の色彩</td> <td>・ フロンス系 ・ フラックス系 ・ ステンカラー系</td> <td>・</td> </tr> </table>	種別	表面処理	施工箇所	・ B-1種(無着色)	無着色陽極酸化塗装複合皮膜(9+7)	・	・ B-2種(カラー)	着色陽極酸化塗装複合皮膜(9+7)	・	B-2種の色彩	・ フロンス系 ・ フラックス系 ・ ステンカラー系	・																											
	種別	表面処理	施工箇所																																							
・ B-1種(無着色)	無着色陽極酸化塗装複合皮膜(9+7)	・																																								
・ B-2種(カラー)	着色陽極酸化塗装複合皮膜(9+7)	・																																								
B-2種の色彩	・ フロンス系 ・ フラックス系 ・ ステンカラー系	・																																								
4	鉄の亜鉛めっき	<table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>地域</th> <th>種類 記号又は等級</th> <th>最少板厚mm</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・ A種</td> <td>海洋帯</td> <td>2種</td> <td>HDZ55</td> <td>4.5以上</td> <td rowspan="3">土壌ラック</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>工業地帯</td> <td>2種</td> <td>HDZ45</td> <td>3.2以上</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>標準</td> <td>2種</td> <td>HDZ35</td> <td>1.6以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・ D種</td> <td>屋外ボルト</td> <td>2種</td> <td>5級</td> <td>-</td> <td rowspan="3">土壌ラック</td> </tr> <tr> <td>・ E種</td> <td>屋内一般</td> <td>2種</td> <td>4級</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・ F種</td> <td>屋内橋脚</td> <td>2種</td> <td>3級</td> <td>-</td> </tr> </table>	表面処理方法	種別	地域	種類 記号又は等級	最少板厚mm	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・ A種	海洋帯	2種	HDZ55	4.5以上	土壌ラック	・ B種	工業地帯	2種	HDZ45	3.2以上	・ C種	標準	2種	HDZ35	1.6以上	電気亜鉛めっき	・ D種	屋外ボルト	2種	5級	-	土壌ラック	・ E種	屋内一般	2種	4級	-	・ F種	屋内橋脚	2種	3級	-
表面処理方法	種別	地域	種類 記号又は等級	最少板厚mm	施工箇所																																					
溶融亜鉛めっき	・ A種	海洋帯	2種	HDZ55	4.5以上	土壌ラック																																				
	・ B種	工業地帯	2種	HDZ45	3.2以上																																					
	・ C種	標準	2種	HDZ35	1.6以上																																					
電気亜鉛めっき	・ D種	屋外ボルト	2種	5級	-	土壌ラック																																				
	・ E種	屋内一般	2種	4級	-																																					
	・ F種	屋内橋脚	2種	3級	-																																					
5	金属成形板張り	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>製法</th> <th>材種</th> <th>表面処理</th> <th>施工箇所</th> <th>厚(mm)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ スパンドレル形</td> <td>・ 押出し</td> <td>※アルミ製</td> <td>・ B-1種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ パネル形</td> <td>※プレス</td> <td>・</td> <td>・ B-2種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 曲加工</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 伸縮継手 ※設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)	種類	製法	材種	表面処理	施工箇所	厚(mm)	その他	・ スパンドレル形	・ 押出し	※アルミ製	・ B-1種	・	・	・	・ パネル形	※プレス	・	・ B-2種	・	・	・	・	・ 曲加工	・	・	・	・	・												
種類	製法	材種	表面処理	施工箇所	厚(mm)	その他																																				
・ スパンドレル形	・ 押出し	※アルミ製	・ B-1種	・	・	・																																				
・ パネル形	※プレス	・	・ B-2種	・	・	・																																				
・	・ 曲加工	・	・	・	・	・																																				
6																																										
7	アルミ製柱木	・ 図示による																																								
8	アルミ製手摺	・ 三協アルミ、61型BL(1段タイプ)ツーボルトアンカー工法 窓間格子、三協アルミ 面格子MS型																																								

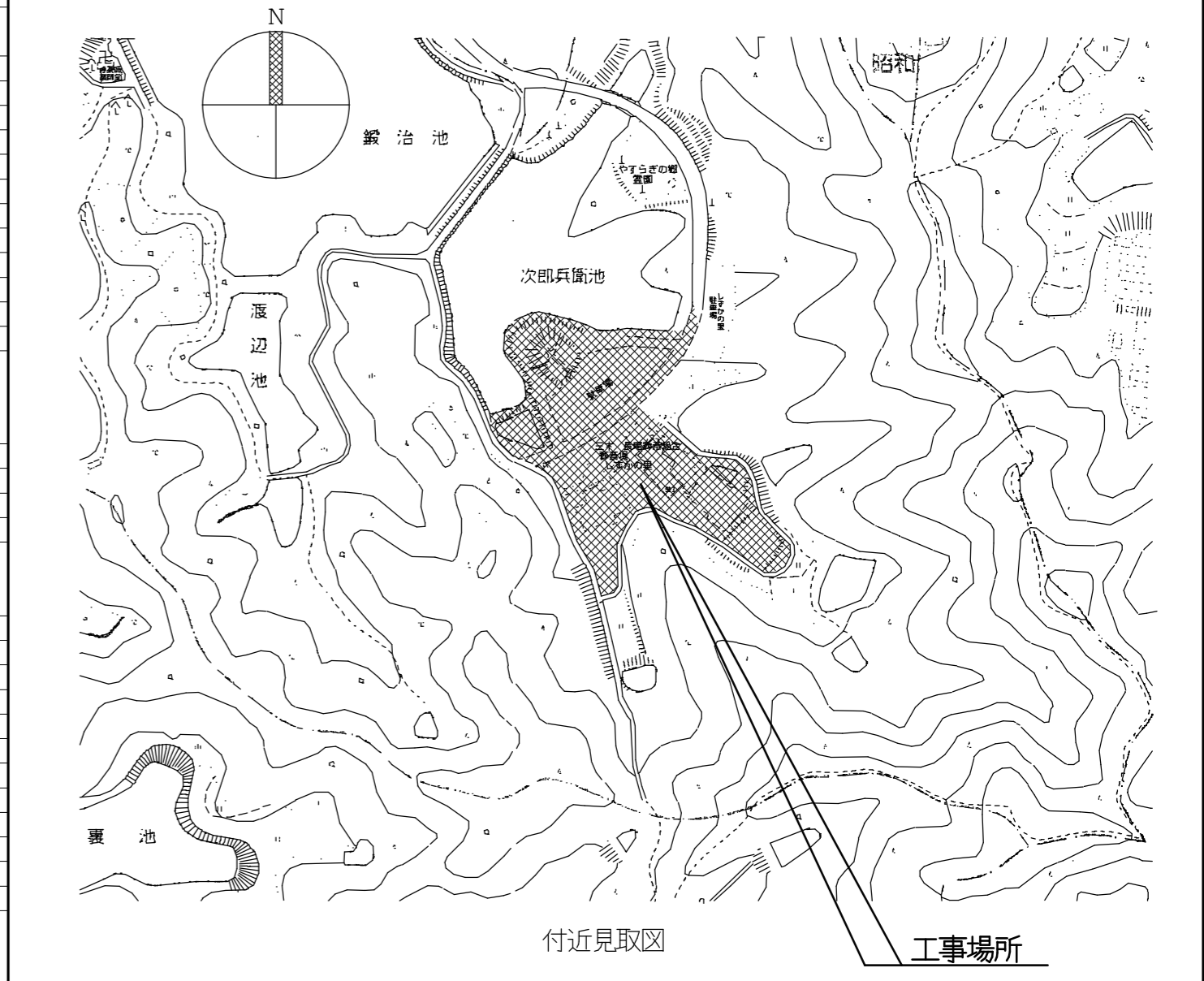
左官工事	1	ひび割れ防止	※コンクリートの打継ぎ部、せつこうラスボード類の継目等、ひび割れのおそれのある箇所には、プラスター塗りの場合、はゆる毛、バーム、ガラス繊維状ネット等を伏せ込み、モルタル塗りの場合は、メタルラス張り等を行う。 吸水調整材の製造所 ※監督員の承諾する製造所 防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) ※監督員の承諾する製造所																																																															
	2	モルタル塗りの下地処置等																																																																
	3	床面の仕上げ	※床コンクリート直均し仕上げの床面の仕上げの平坦さは、次による。(防水下地面の仕上げ状態も準ずる) 1 畳の幅木廻りは、3mにつき3mm以内とする。 2 仕上げ面でのむらに目視により支障がない程度にする。 3 平坦さは、3mにつき7mm以下とする。																																																															
	4	セルフレベリング材塗り	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>標準厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※セメント系</td> <td>※10</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ せつこう系</td> <td>※10</td> <td>・</td> </tr> </table> 養生 ※セルフレベリング材塗り後7日以上放置する。ただし、気象条件等により硬化状態が良好な場合は、監督職員の承諾を受けて、期間を短縮することができる。	種類	標準厚さ(mm)	施工箇所	※セメント系	※10	・	・ せつこう系	※10	・																																																						
	種類	標準厚さ(mm)	施工箇所																																																															
	※セメント系	※10	・																																																															
	・ せつこう系	※10	・																																																															
	5	防火材料	防火材料の指定がある場合は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。 ・ ロックウール吹付け(乾式工法) ・ 図示による																																																															
6	ロックウール吹付け																																																																	
7	仕上げ塗材仕上げ	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>通称</th> <th>参考使用メーカー・品番等</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">薄付け仕上げ塗材</td> <td>・ 外装薄塗材E</td> <td>アクリリシソ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材E</td> <td>じゅらく</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材E</td> <td>弾性リソソ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 防水型外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">厚付け仕上げ塗材</td> <td>・ 外装厚塗材C</td> <td>セメントスタッコ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材C</td> <td>セメントスタッコ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材E</td> <td>アクリリスタッコ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材E</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">複層仕上げ塗材</td> <td>・ 複層塗材CE</td> <td>ポリマーセメントタイル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材SI</td> <td>シリカタイル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材E</td> <td>アクリルタイル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材RE</td> <td>エポキシタイルRE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材RS</td> <td>エポキシタイル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 防水型複層塗材CE</td> <td>弾性吹付タイル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 防水型複層塗材E</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 防水型複層塗材RS</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付用軽量塗材</td> <td>パーライト、ひる石</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付用軽量塗材</td> <td>パーライト、ひる石</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	呼び名	通称	参考使用メーカー・品番等	薄付け仕上げ塗材	・ 外装薄塗材E	アクリリシソ	・	・ 内装薄塗材E	じゅらく	・	・ 可とう形外装薄塗材E	弾性リソソ	・	・ 防水型外装薄塗材E	・	・	厚付け仕上げ塗材	・ 外装厚塗材C	セメントスタッコ	・	・ 内装厚塗材C	セメントスタッコ	・	・ 外装厚塗材E	アクリリスタッコ	・	・ 内装厚塗材E	・	・	複層仕上げ塗材	・ 複層塗材CE	ポリマーセメントタイル	・	・ 可とう形複層塗材CE	・	・	・ 複層塗材SI	シリカタイル	・	・ 複層塗材E	アクリルタイル	・	・ 複層塗材RE	エポキシタイルRE	・	・ 複層塗材RS	エポキシタイル	・	・ 防水型複層塗材CE	弾性吹付タイル	・	・ 防水型複層塗材E	・	・	・ 防水型複層塗材RS	・	・	・ 吹付用軽量塗材	パーライト、ひる石	・	・ 吹付用軽量塗材	パーライト、ひる石	・
種類	呼び名	通称	参考使用メーカー・品番等																																																															
薄付け仕上げ塗材	・ 外装薄塗材E	アクリリシソ	・																																																															
	・ 内装薄塗材E	じゅらく	・																																																															
	・ 可とう形外装薄塗材E	弾性リソソ	・																																																															
	・ 防水型外装薄塗材E	・	・																																																															
厚付け仕上げ塗材	・ 外装厚塗材C	セメントスタッコ	・																																																															
	・ 内装厚塗材C	セメントスタッコ	・																																																															
	・ 外装厚塗材E	アクリリスタッコ	・																																																															
	・ 内装厚塗材E	・	・																																																															
複層仕上げ塗材	・ 複層塗材CE	ポリマーセメントタイル	・																																																															
	・ 可とう形複層塗材CE	・	・																																																															
	・ 複層塗材SI	シリカタイル	・																																																															
	・ 複層塗材E	アクリルタイル	・																																																															
	・ 複層塗材RE	エポキシタイルRE	・																																																															
	・ 複層塗材RS	エポキシタイル	・																																																															
	・ 防水型複層塗材CE	弾性吹付タイル	・																																																															
	・ 防水型複層塗材E	・	・																																																															
	・ 防水型複層塗材RS	・	・																																																															
	・ 吹付用軽量塗材	パーライト、ひる石	・																																																															
・ 吹付用軽量塗材	パーライト、ひる石	・																																																																
8	その他	・ 建具廻り充填モルタル詰め防水剤及び凍結防止剤は資料を提出し承諾を受けること。																																																																

塗装改修工事	1	材料 [7.1.3]	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所： )
	2	下地調整	塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・ 図示
	3	素地ごしらえ	
	4	錆止め塗料塗り	

塗装	6	塗装	<table border="1"> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂調合ペイト塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ グリッド塗り(CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ アクリル樹脂系非水分散性塗料塗り(NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ つや有合成樹脂エポキシペイト塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面、せつこうボード面等</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂エポキシペイト塗り(EP)</td> <td>コンクリート面、せつこうボード面等</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ウレタン樹脂系塗料塗り(UC)</td> <td>コンクリート面、せつこうボード面等</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ スティン塗り</td> <td>・ ビックメイト塗り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ ミルトン塗り(OS)</td> <td>・ 図示による</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>・</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 高日射反射塗料塗り(G)</td> <td>・</td> <td>RA種</td> <td>・ RB種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>RC種</td> <td>・</td> </tr> </table>	塗装の種類	塗装面	工程		・ 合成樹脂調合ペイト塗り(SOP)	木部屋外	※B種	・ ※A種	木部屋内	※B種	・ ※B種	鉄鋼面	鉄鋼面	※B種	・ ※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	・ ※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	亜鉛めっき鋼面	※B種	・ ※B種	亜鉛めっき鋼面	※B種	・ ※B種	・ グリッド塗り(CL)	鉄鋼面	※B種	・ ※A種	鉄鋼面	※B種	・ ※A種	○ アクリル樹脂系非水分散性塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	・ ※A種	鉄鋼面	※B種	・ ※A種	○ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	※B種	・ ※A種	鉄鋼面	※B種	・ ※A種	・ つや有合成樹脂エポキシペイト塗り(EP-G)	コンクリート面、せつこうボード面等	※B種	・ ※A種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・ ※A種	・ 合成樹脂エポキシペイト塗り(EP)	コンクリート面、せつこうボード面等	※B種	・ ※A種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・ ※A種	・ ウレタン樹脂系塗料塗り(UC)	コンクリート面、せつこうボード面等	※B種	・ ※A種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・ ※A種	・ スティン塗り	・ ビックメイト塗り	—	—	・ ミルトン塗り(OS)	・ 図示による	・ 図示による	・ 木材保護塗料塗り(WP)	・	※B種	・ ※A種	・	※B種	・ ※A種	・ 高日射反射塗料塗り(G)	・	RA種	・ RB種	・	RC種	・
			塗装の種類	塗装面	工程																																																																																						
			・ 合成樹脂調合ペイト塗り(SOP)	木部屋外	※B種	・ ※A種																																																																																					
				木部屋内	※B種	・ ※B種																																																																																					
			鉄鋼面	鉄鋼面	※B種	・ ※B種																																																																																					
				亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	・ ※B種																																																																																					
			亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	亜鉛めっき鋼面	※B種	・ ※B種																																																																																					
				亜鉛めっき鋼面	※B種	・ ※B種																																																																																					
			・ グリッド塗り(CL)	鉄鋼面	※B種	・ ※A種																																																																																					
				鉄鋼面	※B種	・ ※A種																																																																																					
			○ アクリル樹脂系非水分散性塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	・ ※A種																																																																																					
				鉄鋼面	※B種	・ ※A種																																																																																					
○ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	※B種	・ ※A種																																																																																								
	鉄鋼面	※B種	・ ※A種																																																																																								
・ つや有合成樹脂エポキシペイト塗り(EP-G)	コンクリート面、せつこうボード面等	※B種	・ ※A種																																																																																								
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・ ※A種																																																																																								
・ 合成樹脂エポキシペイト塗り(EP)	コンクリート面、せつこうボード面等	※B種	・ ※A種																																																																																								
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・ ※A種																																																																																								
・ ウレタン樹脂系塗料塗り(UC)	コンクリート面、せつこうボード面等	※B種	・ ※A種																																																																																								
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・ ※A種																																																																																								
・ スティン塗り	・ ビックメイト塗り	—	—																																																																																								
	・ ミルトン塗り(OS)	・ 図示による	・ 図示による																																																																																								
・ 木材保護塗料塗り(WP)	・	※B種	・ ※A種																																																																																								
	・	※B種	・ ※A種																																																																																								
・ 高日射反射塗料塗り(G)	・	RA種	・ RB種																																																																																								
	・	RC種	・																																																																																								

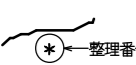


工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量 (kg/㎡)
					塗料製造所の仕様による

\*本工事は「三木・長尾斎齋組合退休2日建築工事実施要綱」における、「発注者指定型」の対象工事である。  
 \*石綿の有無の事前調査結果の報告を法令に基づき行なう。  
 \*下請け施工を必要とするものにあたっては、地場産業の振興と地域経済の活性化の観点から三木町、及びさぬき市内業者への優先発注に務めること。  
 \*工事施工に必要な資材、建設設備等を購入する場合は、三木町、及びさぬき市内業者を優先して活用すること。

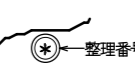
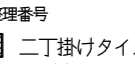
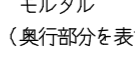




(コンクリート打放し面)

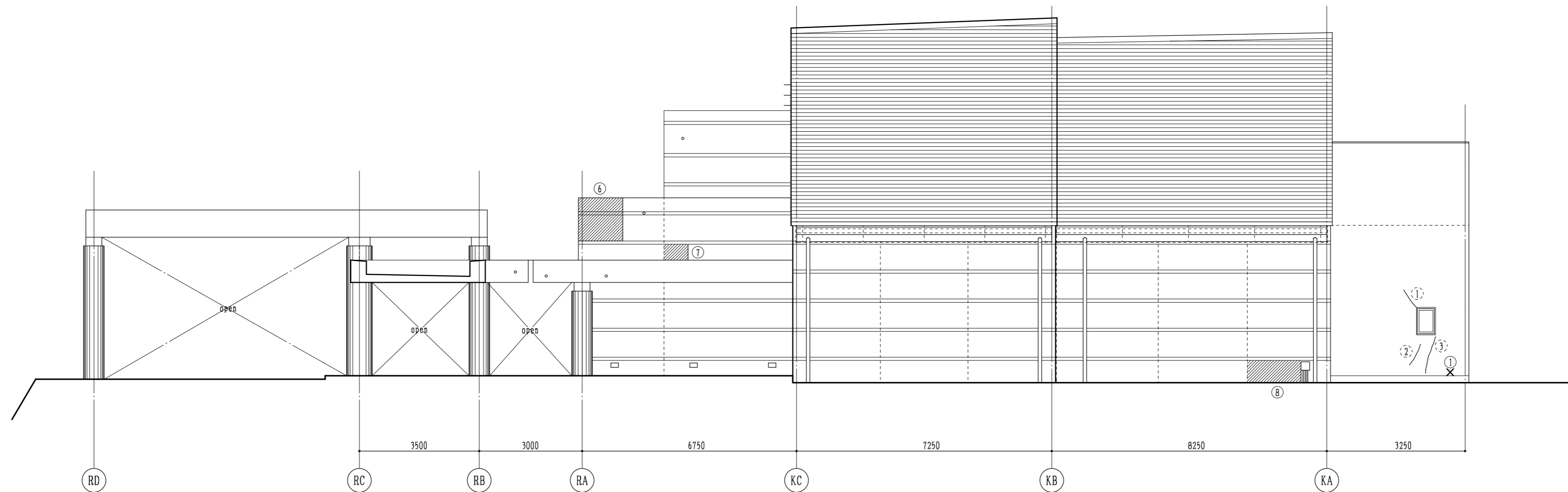
記号	内容
 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動機衝刺塗布

(タイル面)

記号	内容
 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25バ/㎡ (奥行部分を表す)



劣化改修 火葬棟 北立面図 1:100



劣化改修 火葬棟 西立面図 1:100

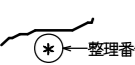


令和8年度しずかの里防水等改修工事

R8.3 NO.04

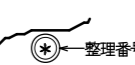
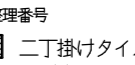
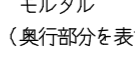
劣化改修 火葬棟 西、北立面図

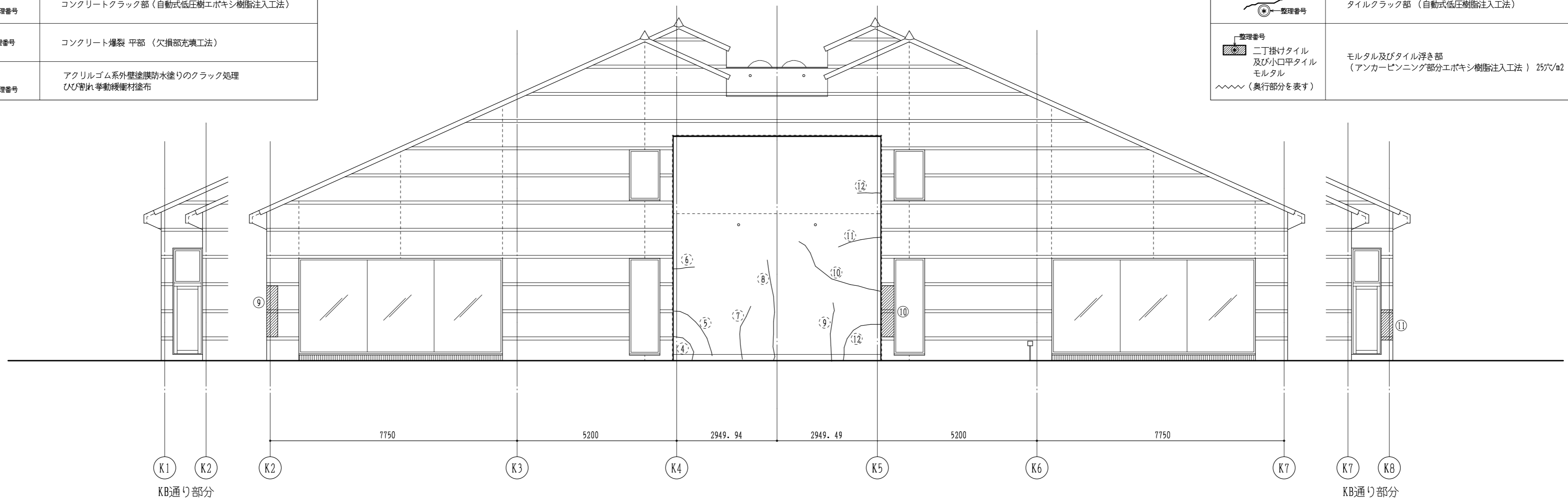
1:100

(コンクリート打放し面)

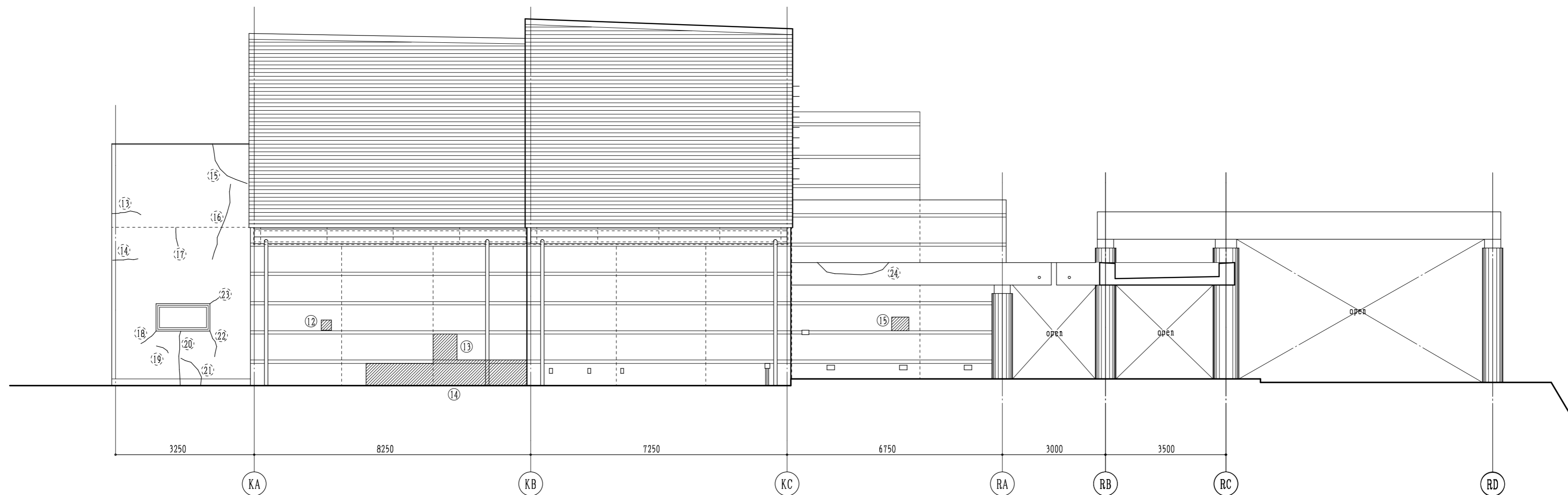
記号	内容
 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動機補修材塗布

(タイル面)

記号	内容
 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 257/㎡2 (奥行部分を表す)



劣化改修 火葬棟 南立面図 1:100



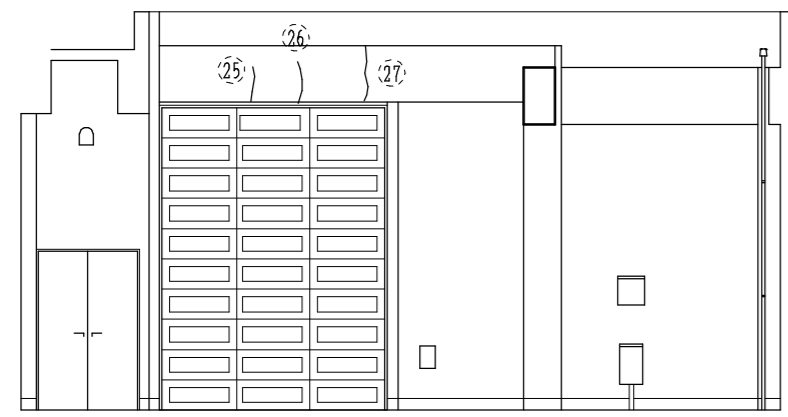
劣化改修 火葬棟 東立面図 1:100

令和8年度しずかの里防水等改修工事

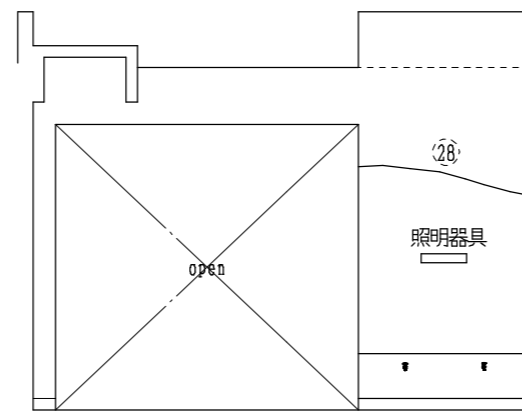
R8.3 NO.05

劣化改修 火葬棟 東、南立面図

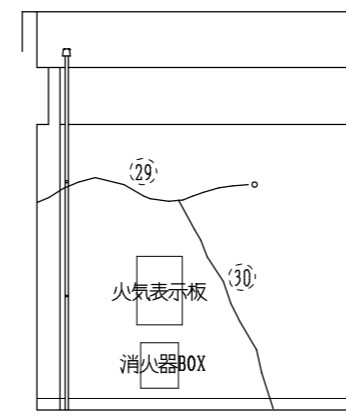
1:100



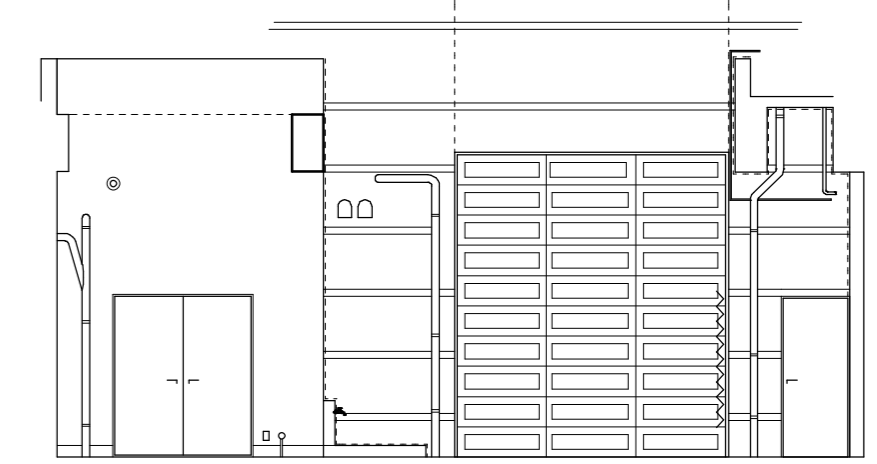
サービスヤード 展開図 A面 1:100



サービスヤード 展開図 B面 1:100



サービスヤード 展開図 B面 1:100



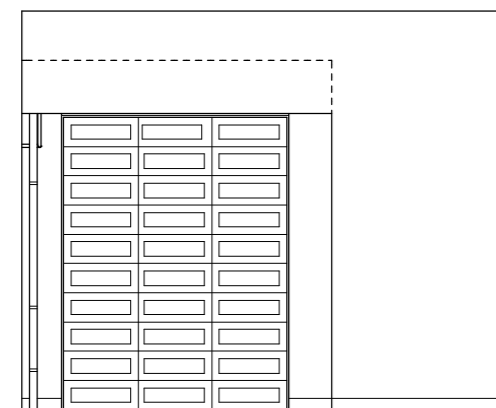
サービスヤード 展開図 C面 1:100

(コンクリート打放し面)

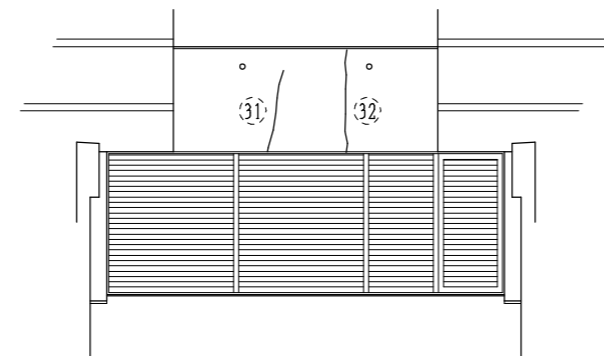
記号	内容
*	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
X*	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
*	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ挙動緩衝材塗布

(タイル面)

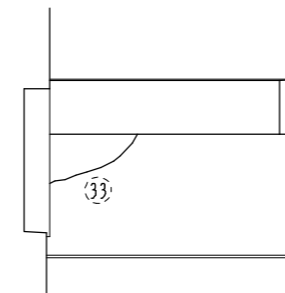
記号	内容
*	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
*	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
~~~~	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m <sup>2</sup> (奥行部分を表す)



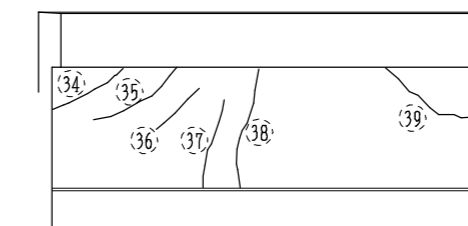
サービスヤード 展開図 D面 1:100



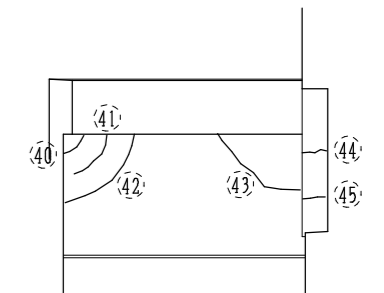
ROOF (3) 展開図 A面 1:100



ROOF (3) 展開図 B面 1:100



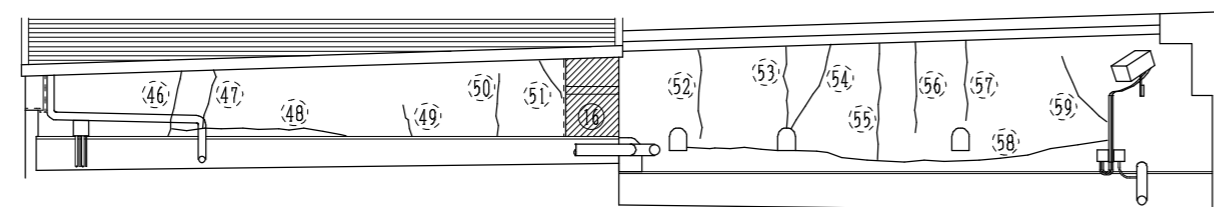
ROOF (3) 展開図 C面 1:100



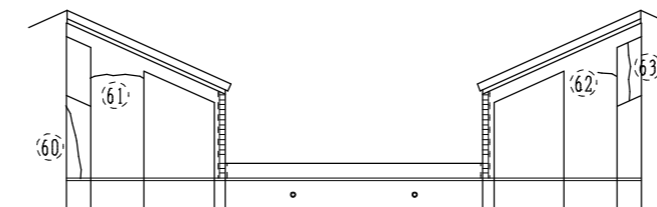
ROOF (3) 展開図 D面 1:100



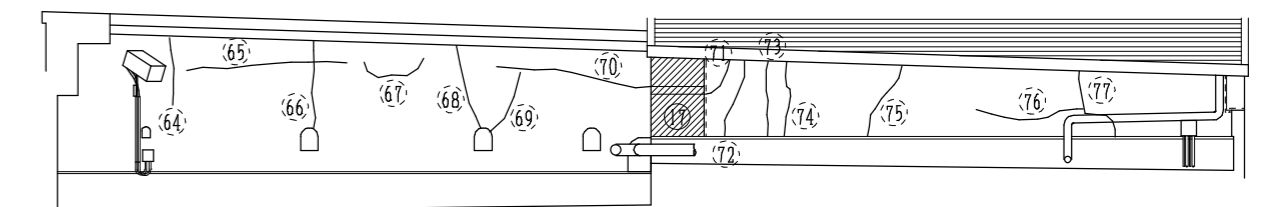
ROOF (5) 展開図 A面 1:100



ROOF (5) 展開図 B面 1:100

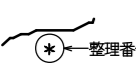




ROOF (5) 展開図 C面 1:100

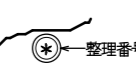
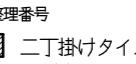
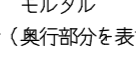


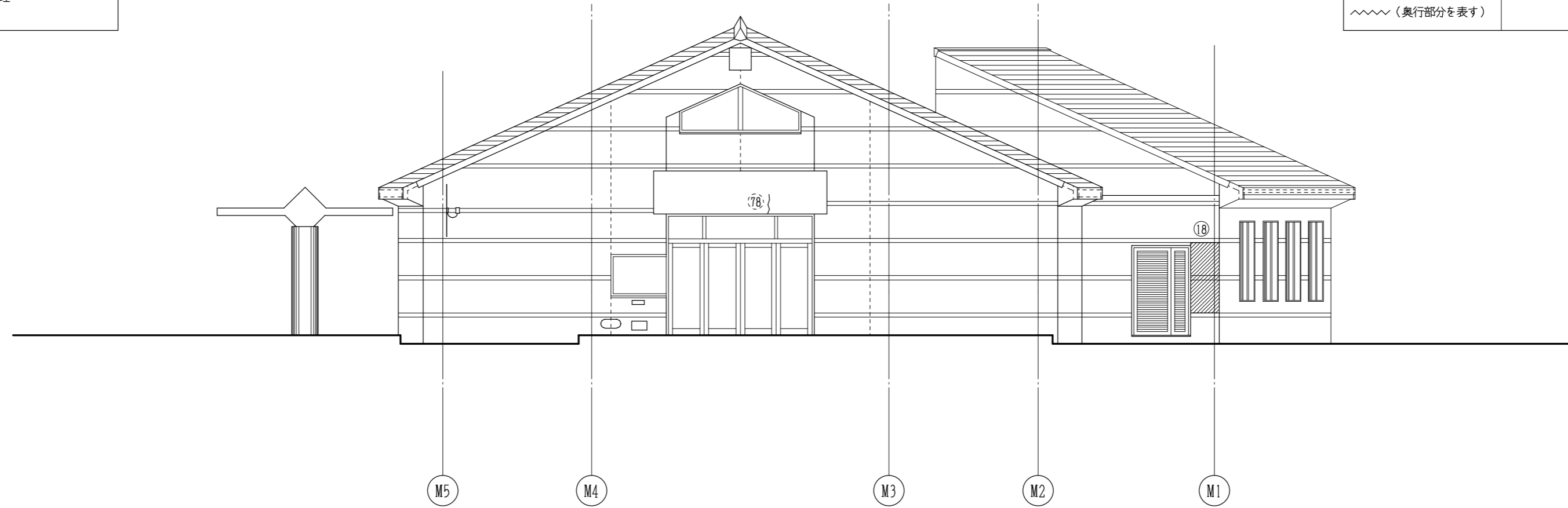
ROOF (5) 展開図 D面 1:100

(コンクリート打放し面)

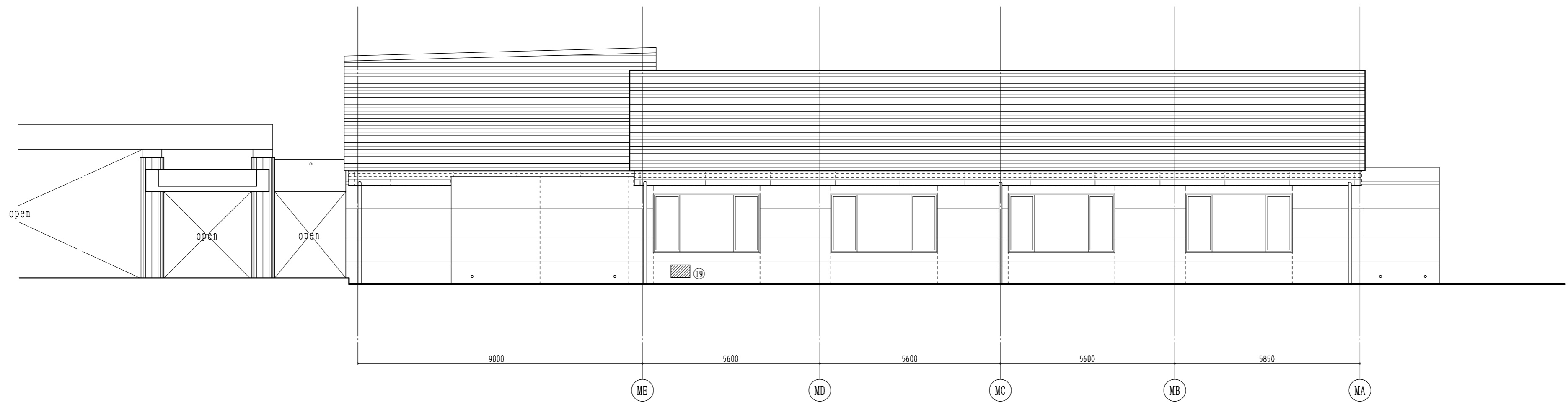
記号	内容
 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動機補修材塗布

(タイル面)

記号	内容
 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25㍻㍻2 (奥行部分を表す)



劣化改修 待合棟 北立面図 1:100



劣化改修 待合棟 西立面図 1:100

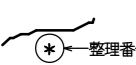


令和8年度しずかの里防水等改修工事

R8.3 NO.07

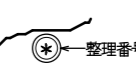
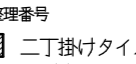
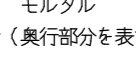
劣化改修 待合棟 西、北立面図

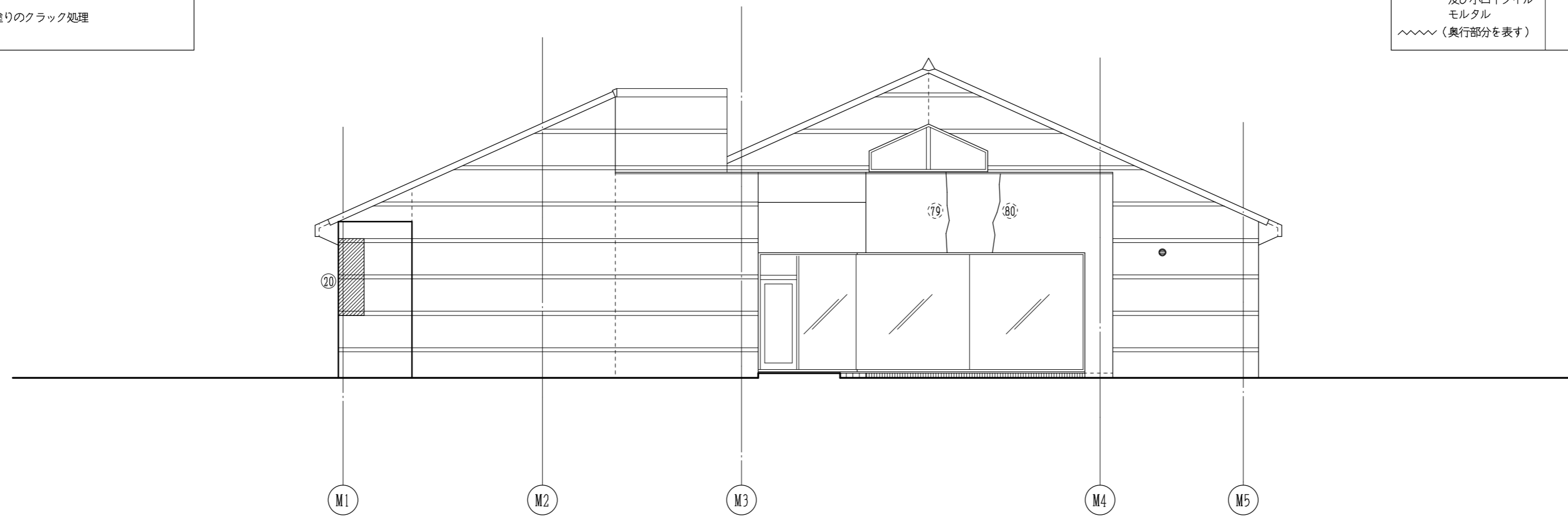
1:100

(コンクリート打放し面)

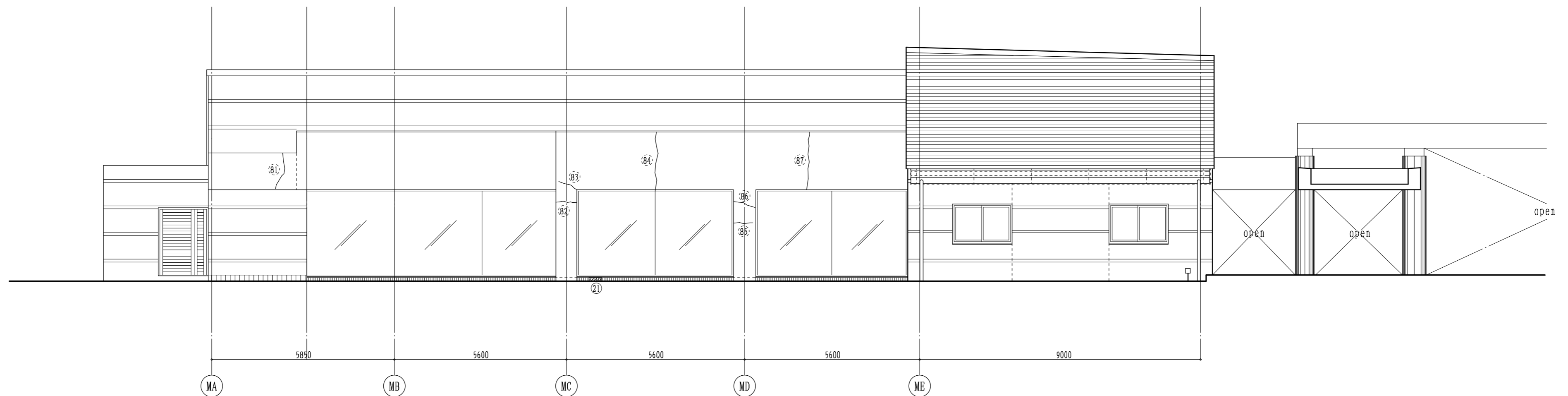
記号	内容
 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動機補修材塗布

(タイル面)

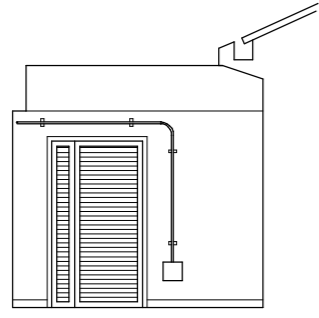
記号	内容
 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/㎡ ~~~~~ (奥行部分を表す)



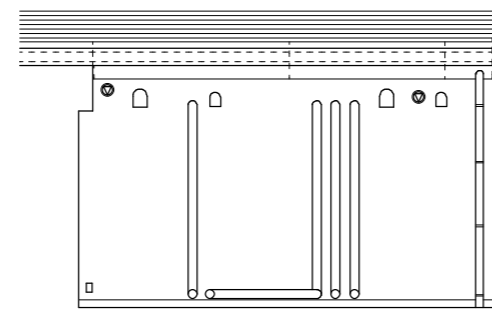
劣化改修 待合棟 南立面図 1:100



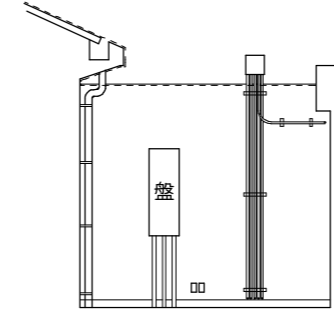
劣化改修 待合棟 東立面図 1:100



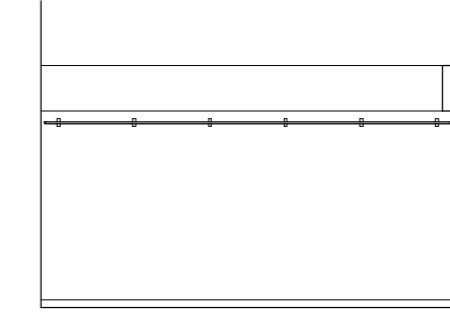
空調室外機置場 展開図 A面 1:100



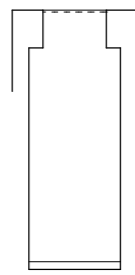
空調室外機置場 展開図 B面 1:100



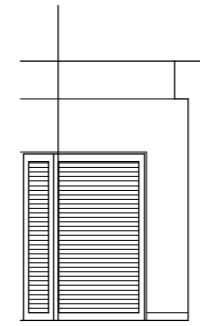
空調室外機置場 展開図 C面 1:100



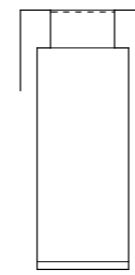
空調室外機置場 展開図 D面 1:100



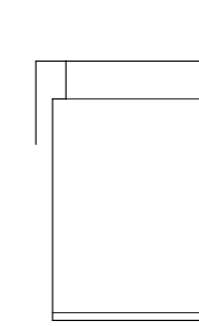
LPG置場 展開図 A面 1:100



LPG置場 展開図 B面 1:100



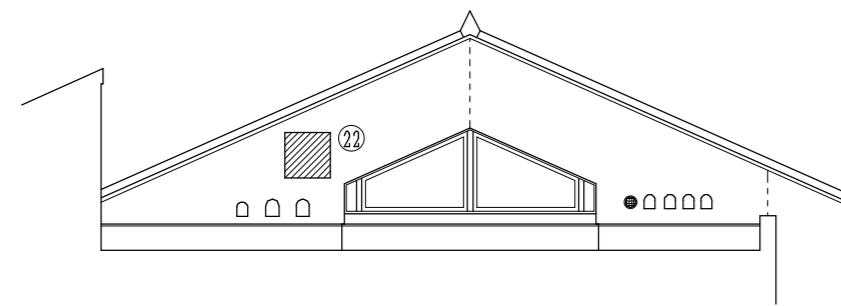
LPG置場 展開図 C面 1:100



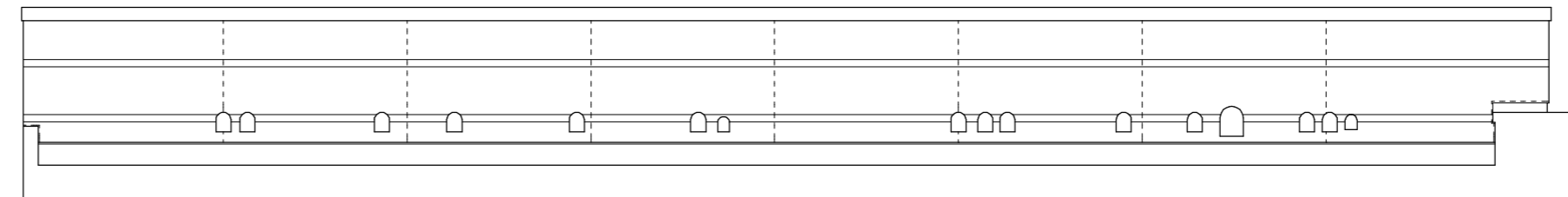
LPG置場 展開図 D面 1:100

(コンクリート打放し面)

記号	内容
整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 びび割れ等動線衝材塗布



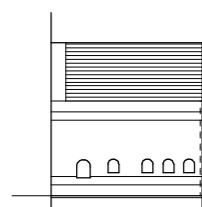
ROOF (1) 展開図 A面 1:100



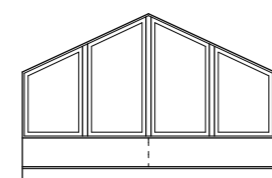
ROOF (1) 展開図 D面 1:100

(タイル面)

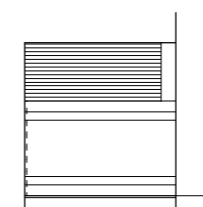
記号	内容
整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m <sup>2</sup> ~~~~ (奥行部分を表す)



庇 展開図 B面 1:100

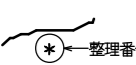




庇 展開図 C面 1:100

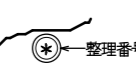
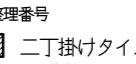
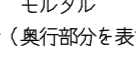


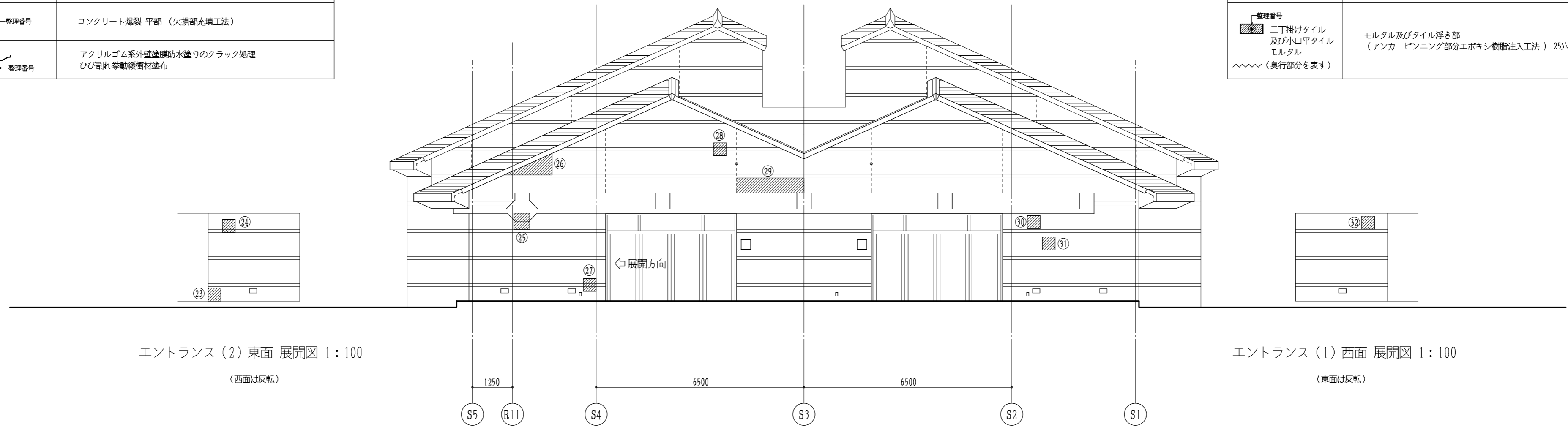
庇 展開図 D面 1:100

(コンクリート打放し面)

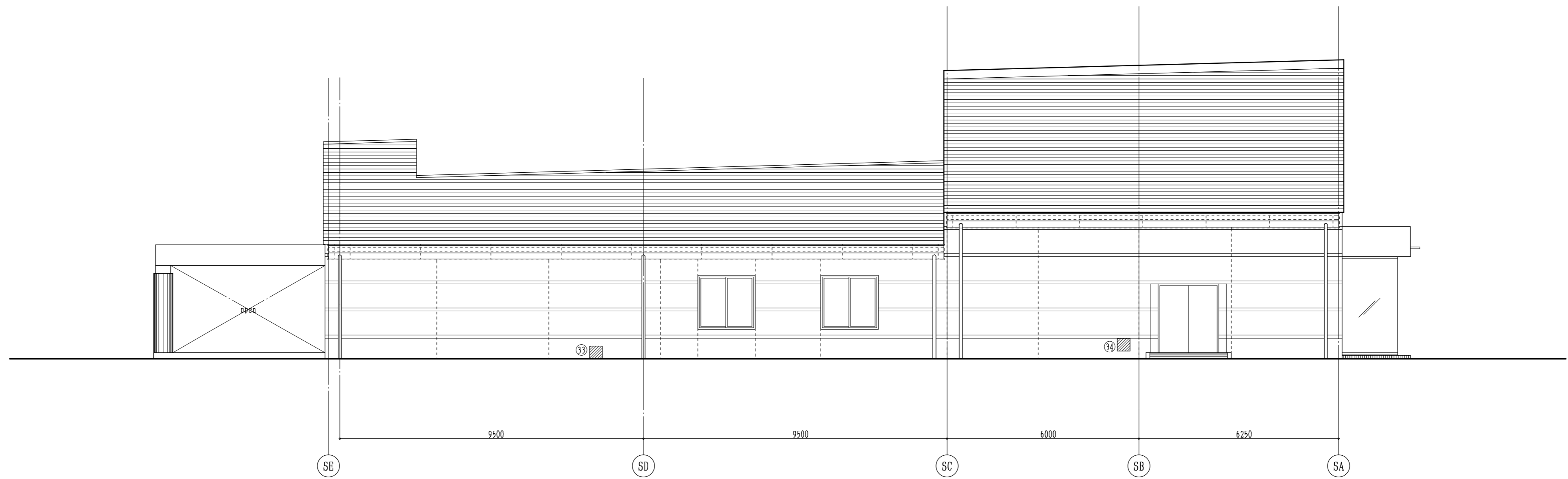
記号	内容
 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動機衝材塗布

(タイル面)

記号	内容
 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/㎡ ~~~~~ (奥行部分を表す)

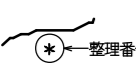




劣化改修 齋場棟 北立面図 1:100

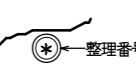
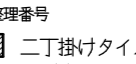
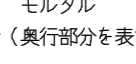


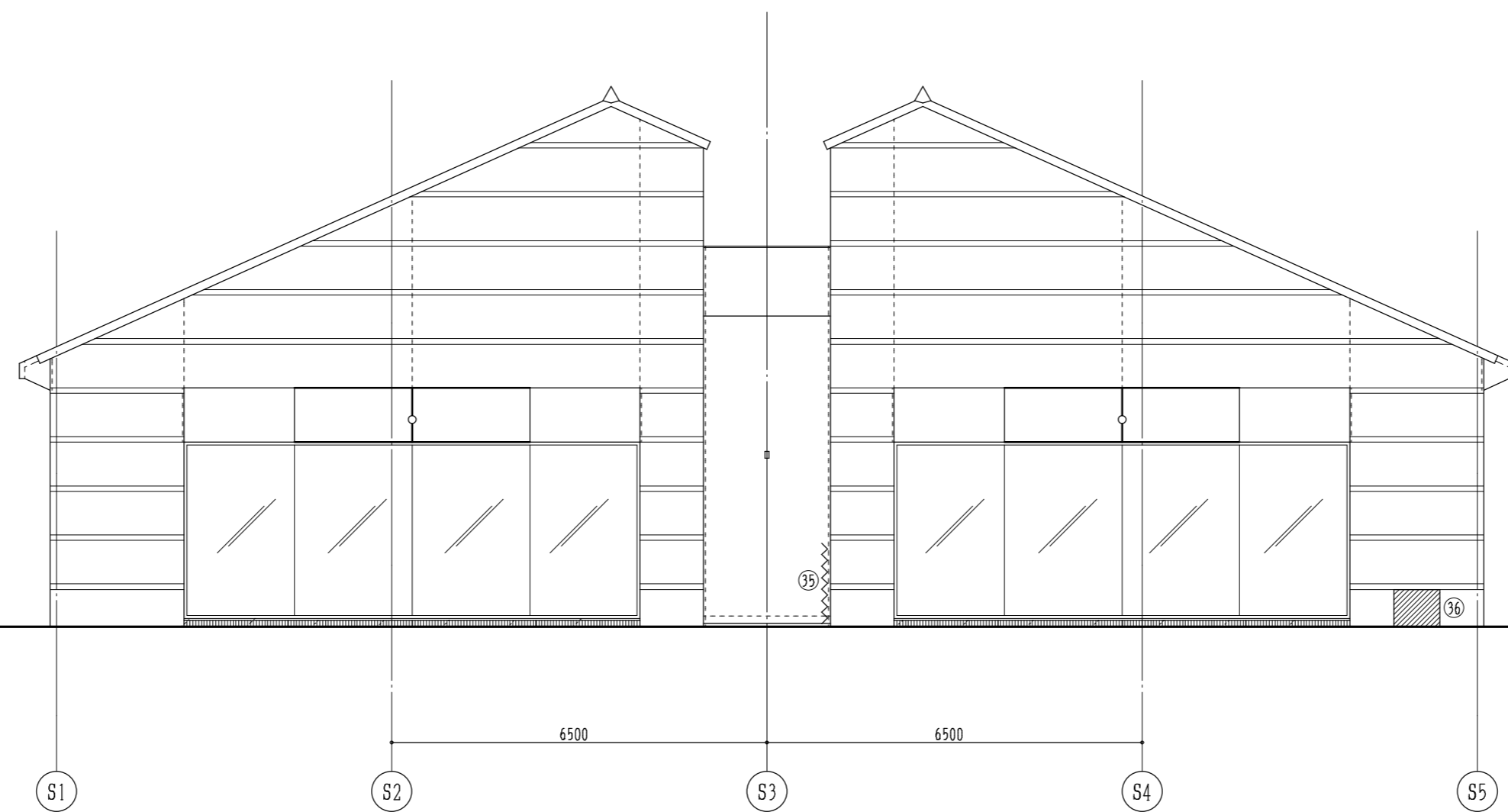
劣化改修 齋場棟 西立面図 1:100

(コンクリート打放し面)

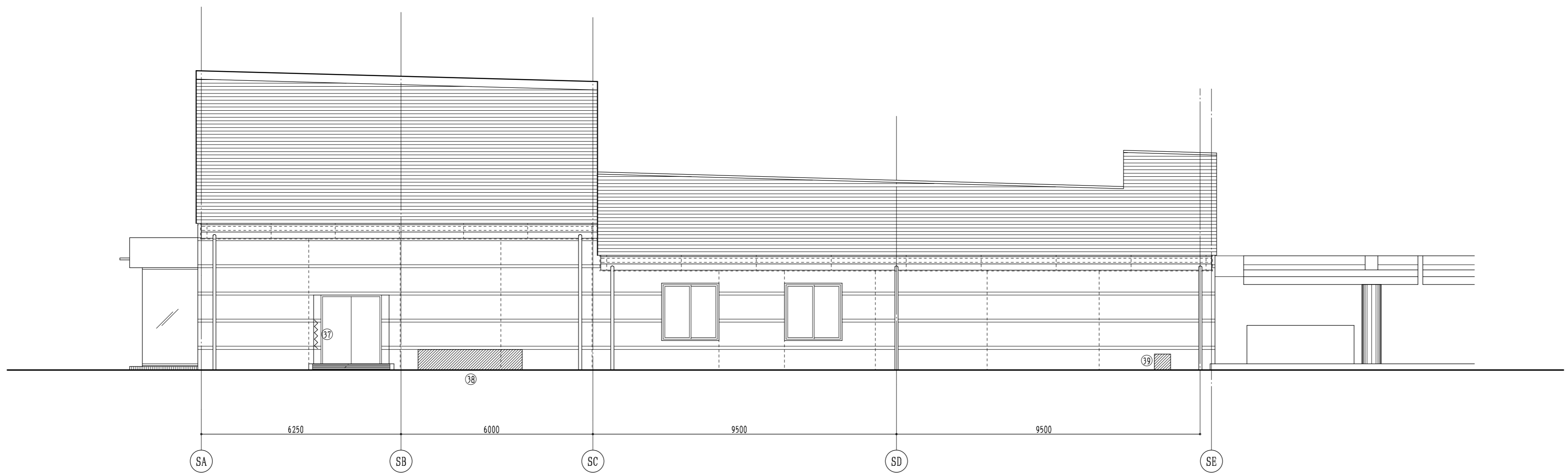
記号	内容
 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動機補修材塗布

(タイル面)

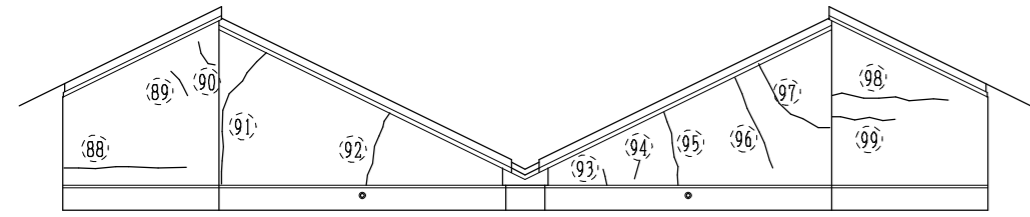
記号	内容
 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m <sup>2</sup> (奥行部分を表す)



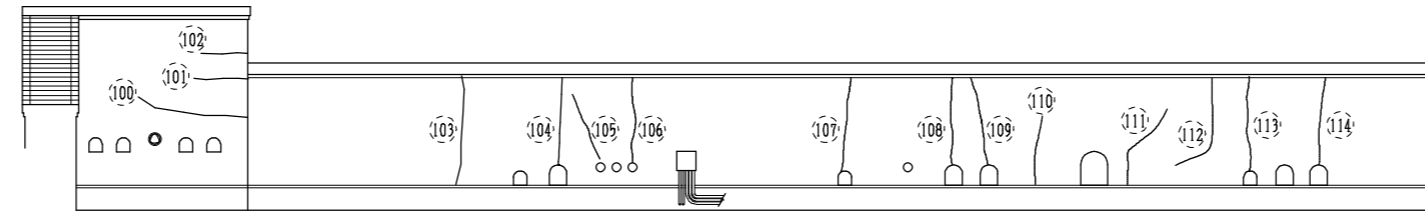
劣化改修 齋場棟 南立面図 1:100



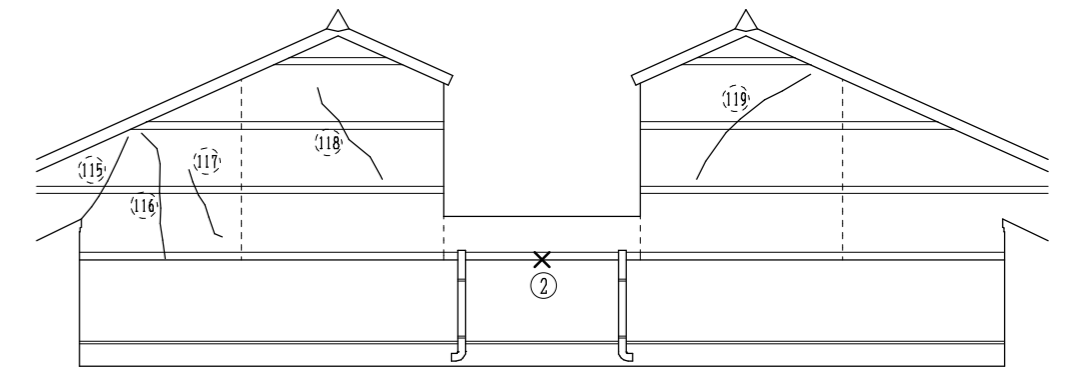
劣化改修 齋場棟 東立面図 1:100



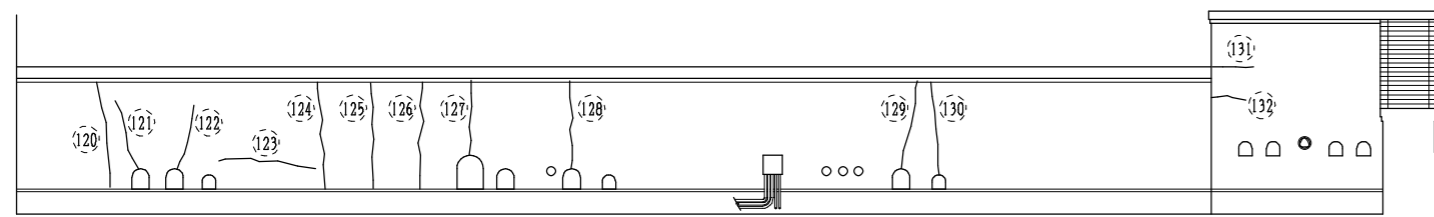
ROOF (1) 展開図 A面 1:100



ROOF (1) 展開図 B面 1:100

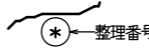
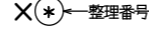
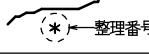


ROOF (1) 展開図 C面 1:100


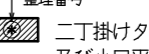
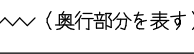


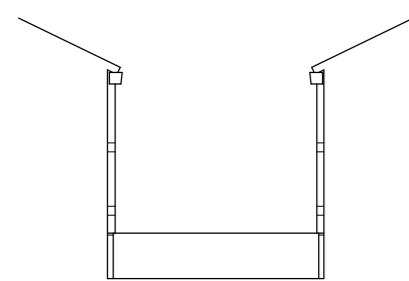
ROOF (1) 展開図 D面 1:100

(コンクリート打放し面)

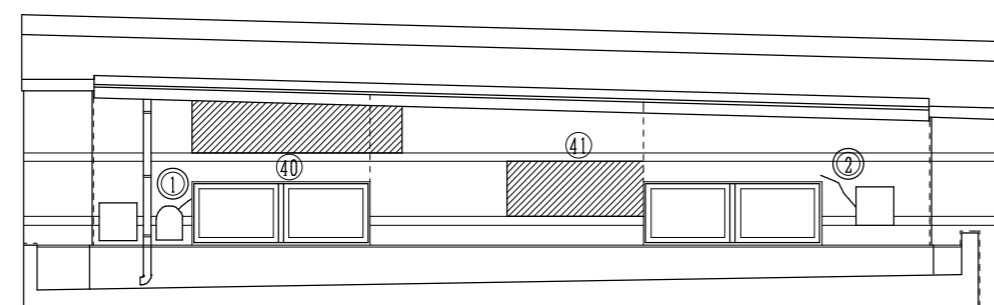
記号	内容
 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ挙動緩衝材塗布

(タイル面)

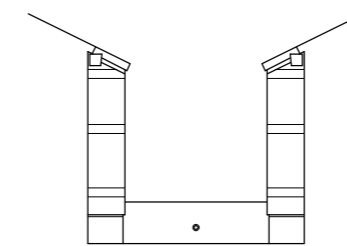
記号	内容
 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 整理番号	モルタル及びタイル淨き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m <sup>2</sup> (奥行部分を表す)



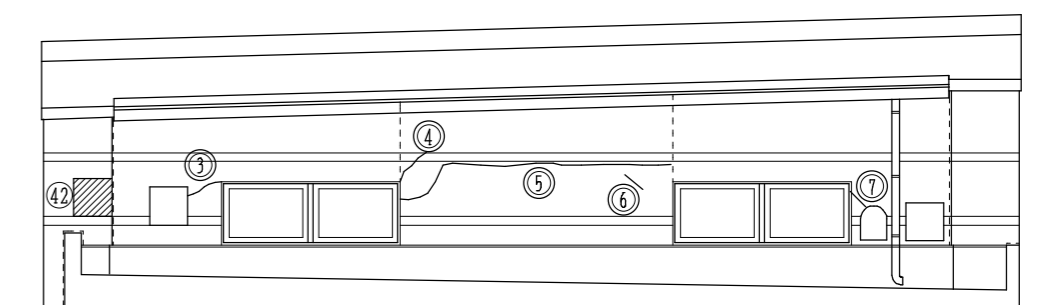
ROOF (2) 展開図 A面 1:100



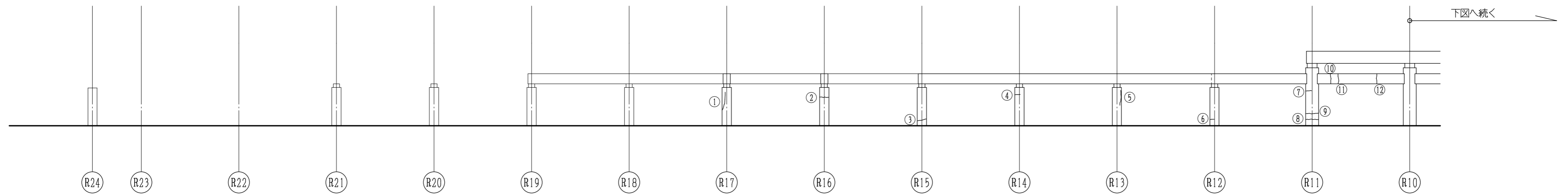
ROOF (2) 展開図 B面 1:100



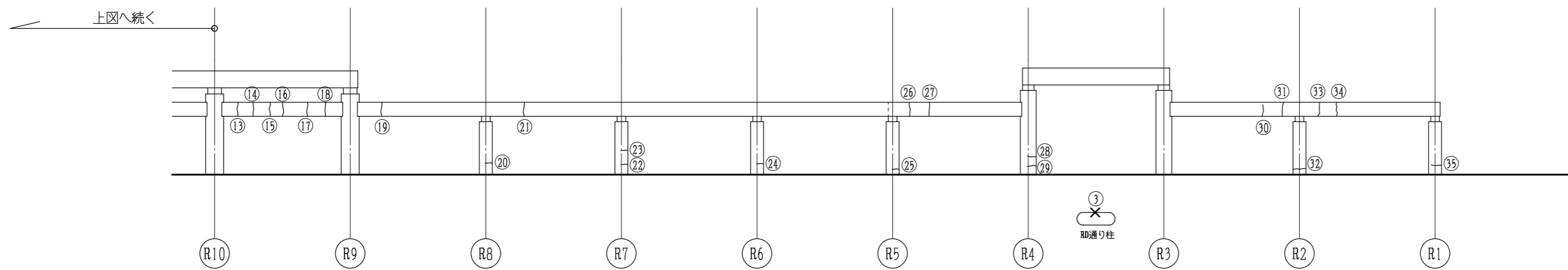
ROOF (2) 展開図 C面 1:100



ROOF (2) 展開図 B面 1:100



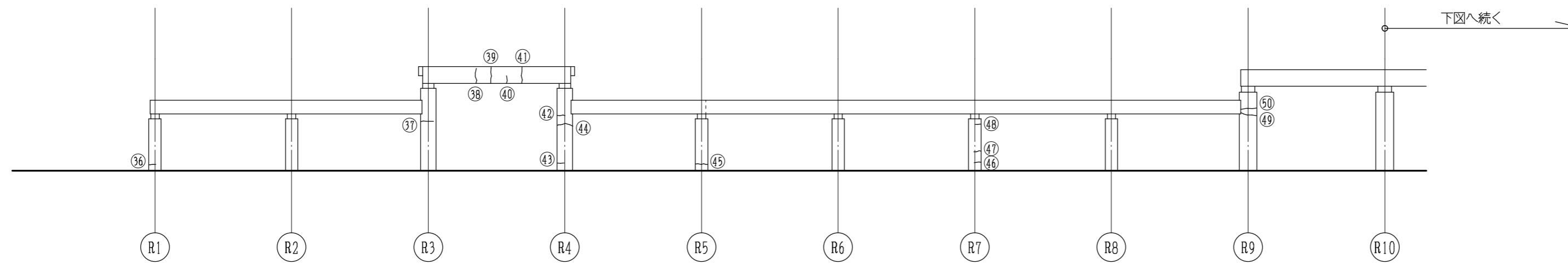
劣化改修 回廊 北立面図 1:200



劣化改修 回廊 北立面図 1:200

(コンクリート打放し面)

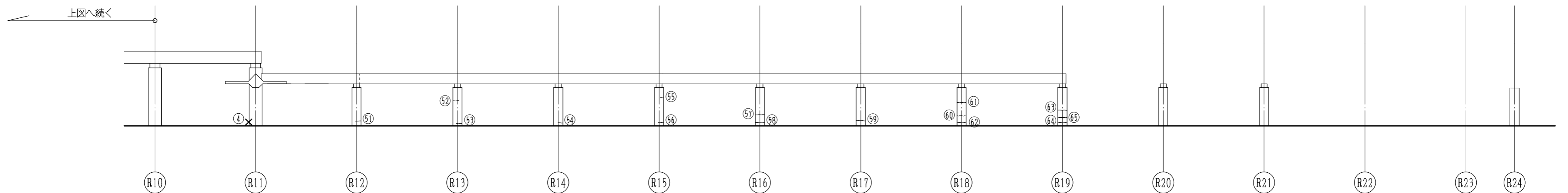
記号	内容
①-整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
X①-整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
①-整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ挙動緩衝材塗布



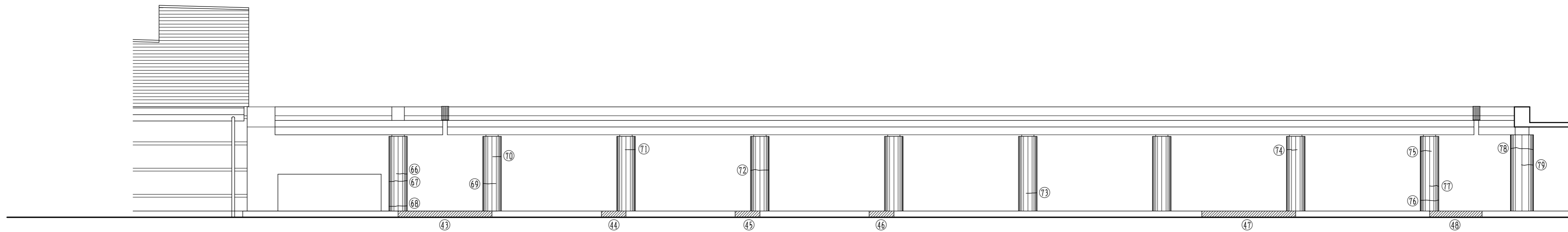
劣化改修 回廊 南立面図 1:200

(タイル面)

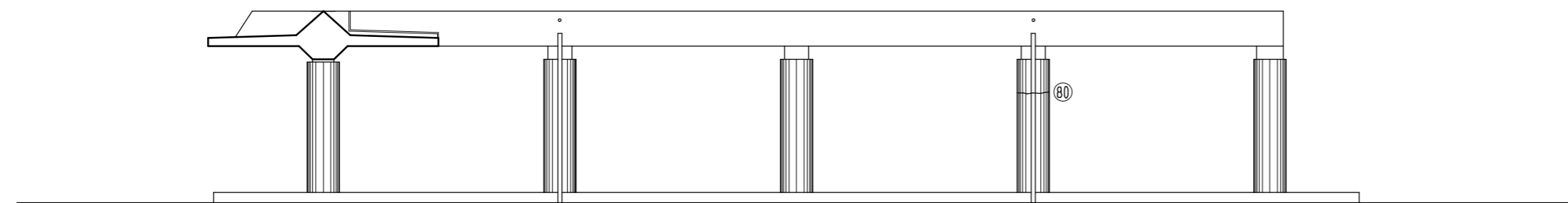
記号	内容
①-整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
①-整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/㎡
①-整理番号	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル (奥行部分を表す)



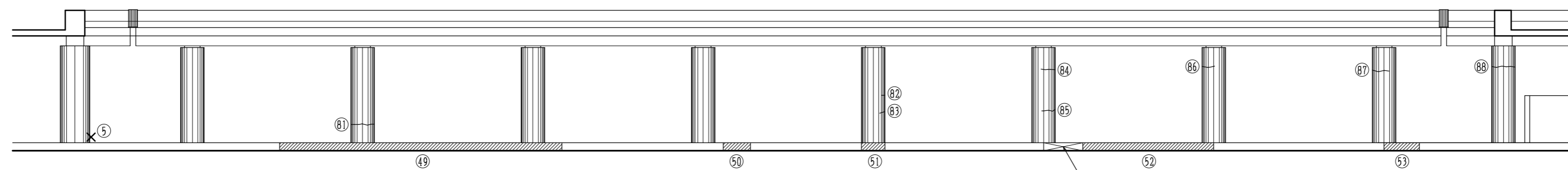
劣化改修 回廊 南立面図 1:200



劣化改修 斎場経路 回廊 東立面図 1:100



劣化改修 斎場経路 回廊 北立面図 1:100



劣化改修 斎場経路 回廊 西立面図 1:100

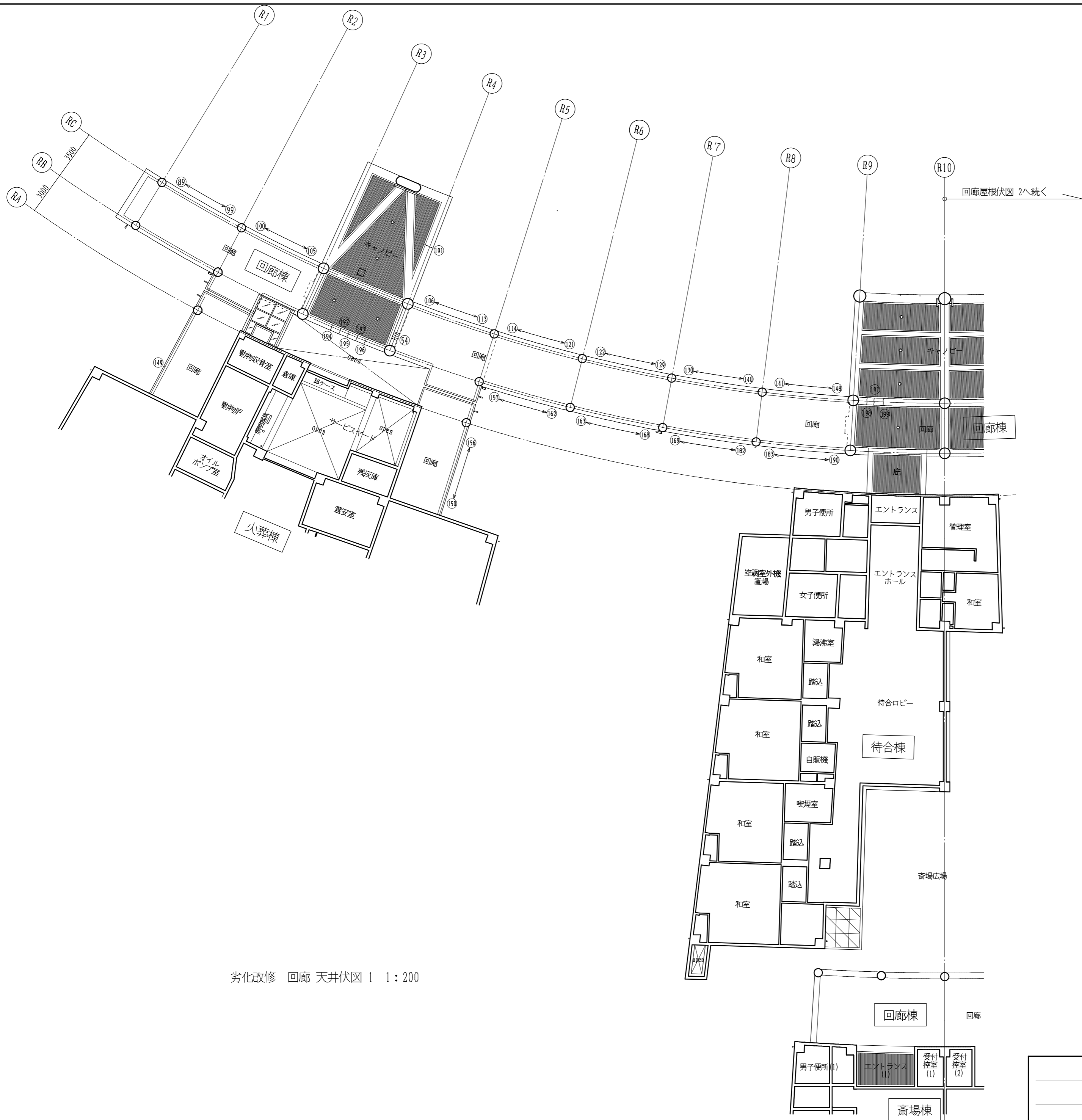
(コンクリート打放し面)

記号	内容
☉ <sup>*</sup> 整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
✕ <sup>*</sup> 整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
☉ <sup>*</sup> 整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ挙動緩衝材塗布

(タイル面)

記号	内容
☉ <sup>*</sup> 整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
☐ <sup>*</sup> 整理番号 〰️ (奥行部分を表す)	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m <sup>2</sup>

既存モルタル撤去、モルタル塗り復旧



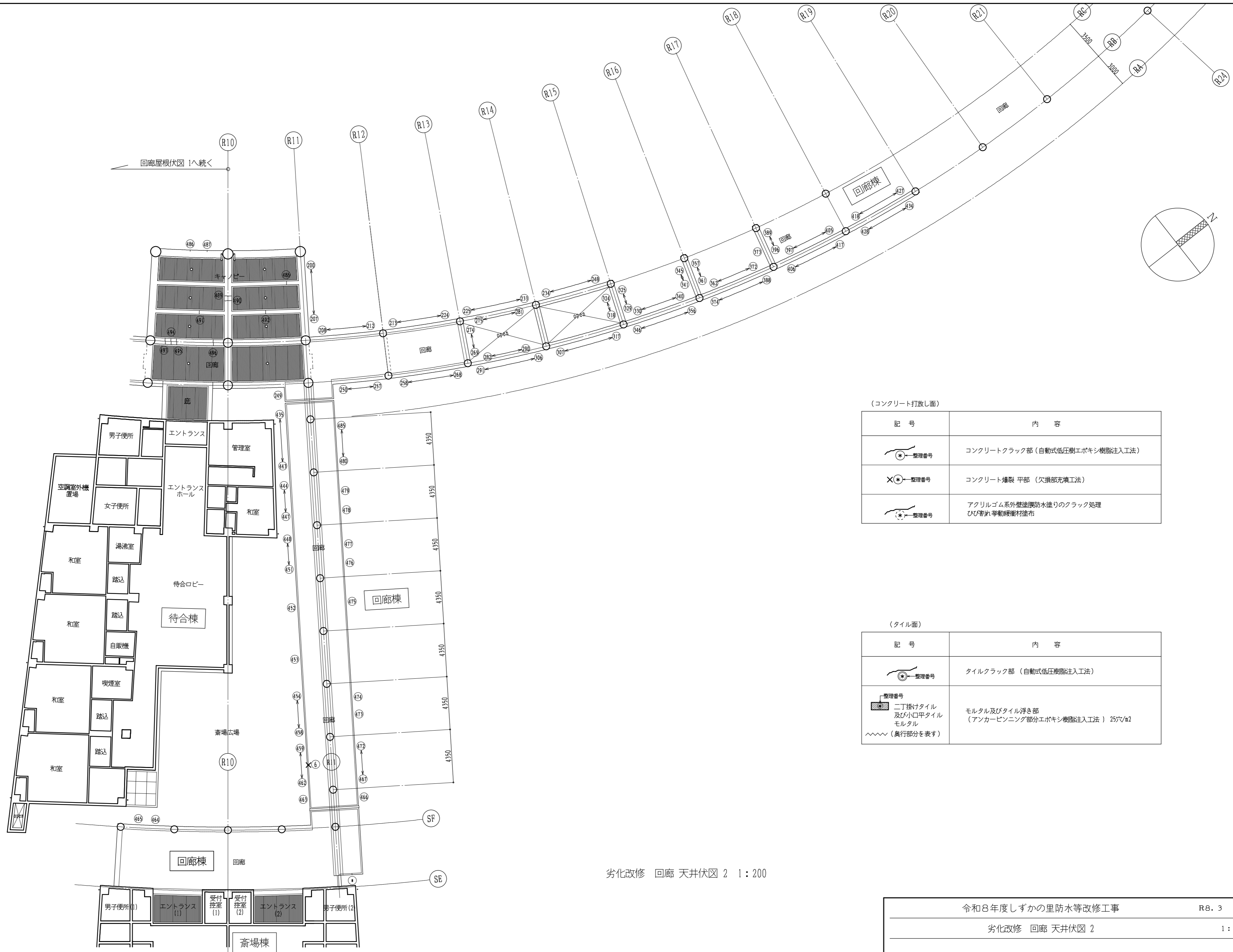
劣化改修 回廊 天井伏図 1 1:200

(コンクリート打放し面)

記号	内容
〇★—整理番号	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
X(★)—整理番号	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
〇★—整理番号	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動線補修材塗布


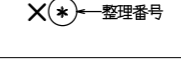
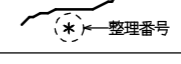
(タイル面)

記号	内容
〇★—整理番号	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
〇★—整理番号	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/㎡
~~~~~ (奥行部分を表す)	

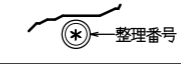
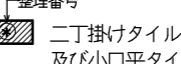
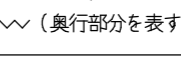


回廊屋根伏図 1へ続く

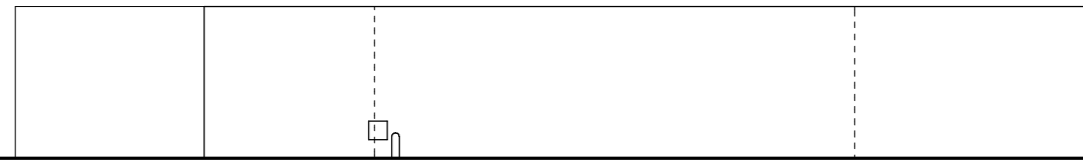
(コンクリート打放し面)

記号	内容
 * <td>コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)</td>	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 * <td>コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)</td>	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
 * <td>アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動揺部衝材塗布</td>	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ等動揺部衝材塗布

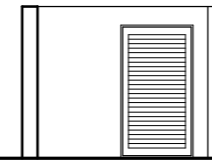
(タイル面)

記号	内容
 * <td>タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)</td>	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
 * <td>二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル</td>	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル
 * <td>モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m<sup>2</sup> (奥行部分を表す)</td>	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m <sup>2</sup> (奥行部分を表す)

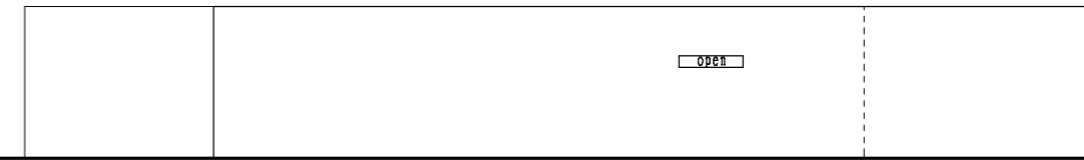
劣化改修 回廊 天井伏図 2 1:200



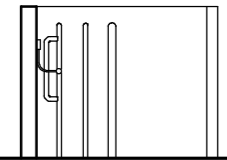
浄化槽機械室 東立面図 1:100



浄化槽機械室 北立面図 1:100



浄化槽機械室 西立面図 1:100



浄化槽機械室 南立面図 1:100

(コンクリート打放し面)

記号	内容
	コンクリートクラック部 (自動式低圧樹脂エポキシ樹脂注入工法)
	コンクリート爆裂 平部 (欠損部充填工法)
	アクリルゴム系外壁塗膜防水塗りのクラック処理 ひび割れ挙動緩衝材塗布

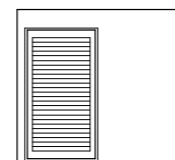
\* 現状浄化槽機械室に該当箇所無し。

(タイル面)

記号	内容
	タイルクラック部 (自動式低圧樹脂注入工法)
	二丁掛けタイル 及び小口平タイル モルタル ~~~~~ (奥行部分を表す)
	モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法) 25穴/m <sup>2</sup>



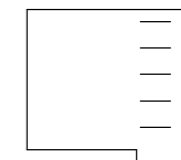
浄化槽機械室 東面 展開図 1:100



浄化槽機械室 北面 展開図 1:100



浄化槽機械室 西面 展開図 1:100



浄化槽機械室 南面 展開図 1:100



コンクリートクラック部 (びび割れ挙動緩衝材塗布)	
整理番号	長さ (m)
1	0.7
2	0.7
3	1.2
4	1.2
5	2.0
6	0.7
7	1.8
8	3.2
9	1.85
10	3.2
11	1.4
12	0.75
13	0.8
14	0.75
15	1.7
16	2.3
17	0.6
18	0.6
19	0.45
20	1.6
21	1.1
22	0.7
23	0.4
24	2.35
25	0.5
26	0.6
27	0.75
28	2.35
29	2.95
30	3.05
31	1.05
32	1.4
33	1.4
34	1.1
35	1.4
36	0.8
37	2.0
38	1.6
39	1.55
40	0.4
41	0.7
42	1.4
43	1.4
44	0.35
45	0.3
46	0.4
47	0.8
48	2.35
49	0.45
50	0.85
51	0.6
52	1.2
53	1.1
54	1.25
55	1.6
56	1.2
57	1.1
58	5.6
59	1.1
60	1.0
61	0.75
62	0.25
63	0.8
64	0.9
65	2.15
66	1.2
67	1.0
68	1.15
69	0.9
70	2.1

整理番号	長さ (m)
71	0.6
72	1.05
73	1.0
74	1.05
75	1.0
76	1.45
77	1.2
78	0.45
79	1.9
80	1.9
81	0.5
82	0.7
83	0.65
84	1.95
85	0.65
86	0.75
87	1.85
88	1.65
89	0.4
90	0.4
91	1.95
92	1.1
93	0.25
94	0.25
95	1.0
96	1.3
97	1.35
98	1.6
99	0.85
100	1.5
101	0.75
102	0.65
103	1.5
104	1.15
105	0.95
106	1.15
107	1.25
108	1.15
109	1.15
110	0.95
111	1.2
112	1.45
113	1.3
114	1.15
115	1.3
116	1.75
117	1.05
118	1.55
119	2.1
120	1.45
121	0.95
122	0.9
123	1.3
124	1.45
125	1.45
126	1.45
127	1.0
128	1.2
129	1.2
130	1.25
131	0.55
132	0.25
計	161.05

モルタル及びタイル浮き部 (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)		
整理番号	巾×長さ (m)	面積 (㎡)
1	0.6×2.75	1.65
2	0.5×1.6	0.8
3	0.5×2.15	1.08
4	0.2×0.2	0.04
5	0.65×0.95	0.62
6	1.3×1.25	1.63
7	0.7×0.5	0.35
8	1.6×0.65	1.04
9	0.35×2.0	0.7
10	0.45×1.6	0.72
11	0.4×0.95	0.38
12	0.3×0.3	0.09
13	0.7×0.75	0.53
14	4.7×0.8	3.76
15	0.5×0.4	0.2
16	0.7×1.05	0.74
17	0.7×1.05	0.74
18	0.65×1.6	1.04
19	0.6×0.4	0.24
20	0.6×1.8	1.08
21	0.4×0.15	0.06
22	0.6×0.6	0.36
23	0.4×0.4	0.16
24	0.4×0.4	0.16
25	0.5×0.5	0.25
26	1.5×0.7/2	0.53
27	0.4×0.4	0.16
28	0.4×0.4	0.16
29	2.1×0.5	1.05
30	0.4×0.4	0.16
31	0.4×0.4	0.16
32	0.4×0.4	0.16
33	0.4×0.4	0.16
34	0.4×0.4	0.16
35	0.5×1.4	0.7
36	0.8×0.65	0.52
37	0.3×1.0	0.3
38	3.25×0.65	2.11
39	0.5×0.5	0.25
40	2.8×0.7	1.96
41	1.8×0.75	1.35
42	0.5×0.5	0.25
43	3.05×0.25	0.76
44	0.8×0.25	0.2
45	0.8×0.25	0.2
46	0.8×0.25	0.2
47	3.05×0.25	0.76
48	1.7×0.25	0.43
49	7.2×0.25	1.8
50	0.7×0.25	0.18
51	0.6×0.25	0.15
52	3.35×0.25	0.84
53	0.9×0.25	0.23
計		34.31

タイルクラック部 (自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)	
整理番号	長さ (m)
1	0.25
2	0.65
3	0.45
4	0.5
5	3.85
6	0.3
7	0.3
計	6.3

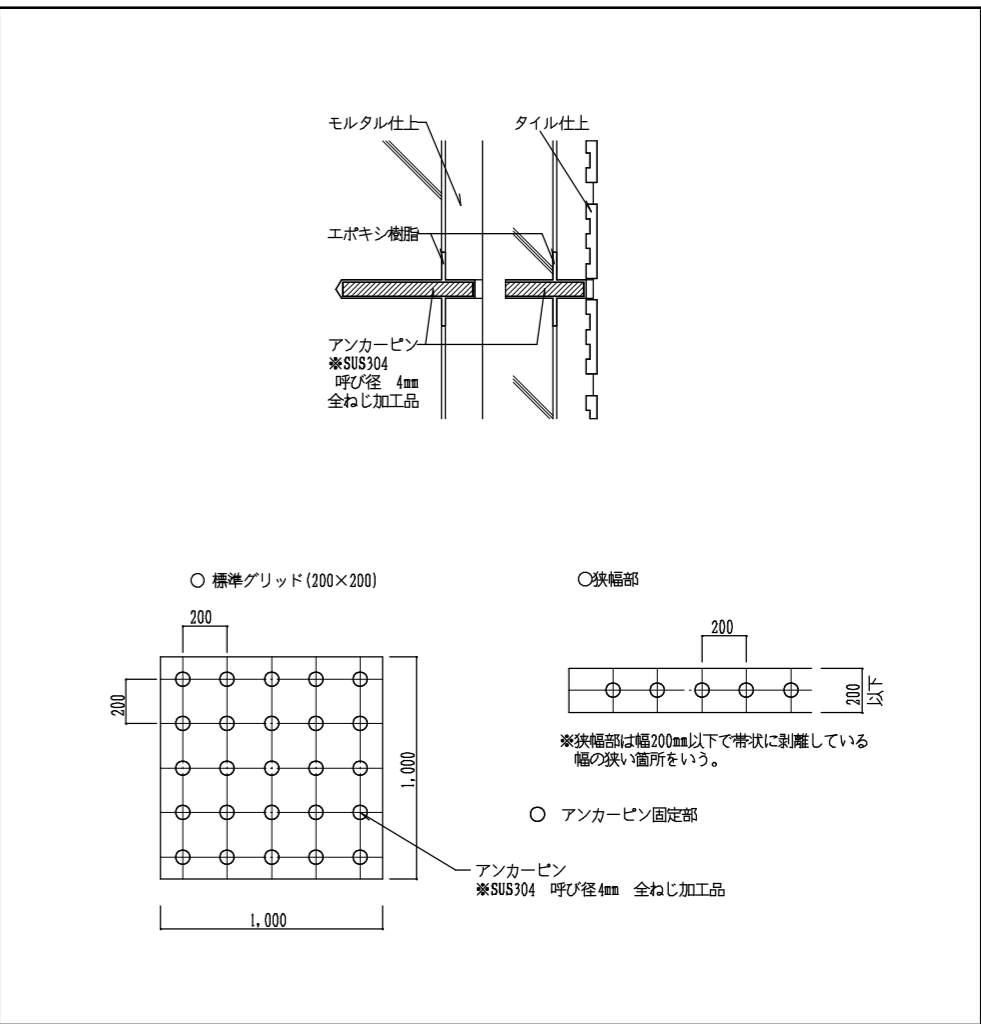
× コンクリート爆裂部 (欠損部充填工法)	
整理番号	巾×長さ (m)
1	0.15×0.15
2	2.05×0.15
3	0.9×0.45
4	0.3×0.15
5	1.0×0.15

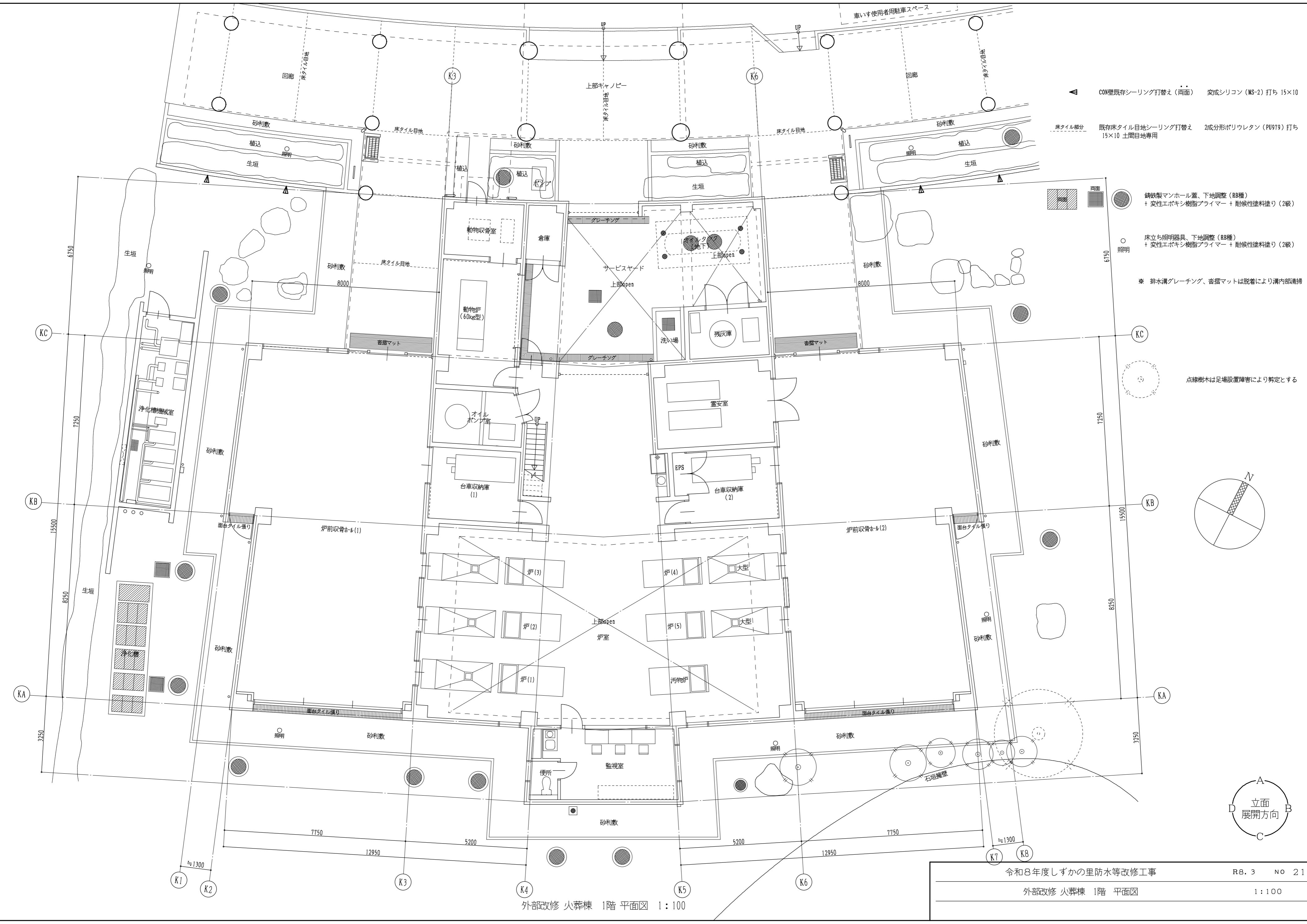
\*劣化数量は足場設置後、再度施工数量の調査を行う。

打放面、タイル面 ひび割れ部改修工法 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		
工 程	施 工 内 容	
1	施工前調査	施工前に詳細調査を行い、調査報告図を作成のうえ、監督員と施工範囲等の打合せを行う。
2	ひび割れ部の清掃	ひびわれ部を中心に巾50mm程度の汚れをワイヤーブラシ等で清掃する。
3	注入器具取付け	注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして仮止めシール材等で取り付ける。
4	ひび割れ部のシール	ひび割れ部に沿って仮止めシール材をパテ等らで巾30mm厚さ2mm程度にシールする。
5	エポキシ樹脂の注入	混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、パネ、空気圧等により、注入圧を0.4N/mm <sup>2</sup> 以下として注入する。
6	養生	注入器具を取り付けたまま硬化養生を行う。
7	注入器具およびシール材の除去	注入器具及び仮止めシール材を除去し、清掃する。

注入間隔 200~300mm

モルタル面、タイル面 浮き部改修工法 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		
工 程	施 工 内 容	
1	施工前調査	施工前に詳細調査を行い、調査報告図を作成のうえ、監督員と施工範囲等の打合せを行う。
2	マーキング	チョーク等で、浮きの範囲と穿孔位置をマーキングする。
3	穿孔	使用するアンカーピンニングの直径より、1~2mm大きい直径とし、マーキングに従い、壁に直角に穿孔する。穿孔深さは、躯体コンクリートから30mm程度の深さとする。
4	孔内の清掃	孔内をブラシ等を清掃後、切粉等を除去する。
5	エポキシ樹脂の注入	アンカーピン固定用エポキシ樹脂 ( J I S A 6 0 2 4 ) を手動式注入器を用いてアンカーピン固定部の最深部から徐々に注入する。
6	表面処理	アンカーピンニング部にパテ状エポキシ樹脂等で充填し、表面処理を行う。
7	ピンニング	指定のアンカーピンを、孔最深部まで埋め込む。アンカーピンの頭は、仕上面から5mm程度深く埋め込む。
8	養生	アンカーピン固定部は、固着するまで ( 夏期 1 5 時間、冬期 2 4 時間以上 ) 衝撃を与えないようにし、降雨養生を行う。
9	表面処理	アンカーピンニング部にパテ状エポキシ樹脂等で充填し、表面処理を行う。
10	清掃	注入部以外の汚れ等を、除去し清掃する。





▲ CON壁既存シーリング打替え (両面) 変成シリコン (MS-2) 打ち 15×10

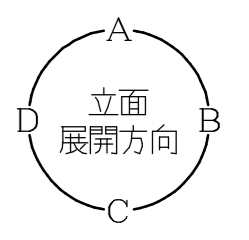
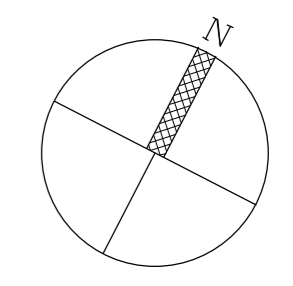
床タイル部分 既存床タイル目地シーリング打替え 15×10 土間目地専用 2成形ポリウレタン (PU979) 打ち

● 鋼鉄製マンホール蓋、下地調整 (R8種) + 変性エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)

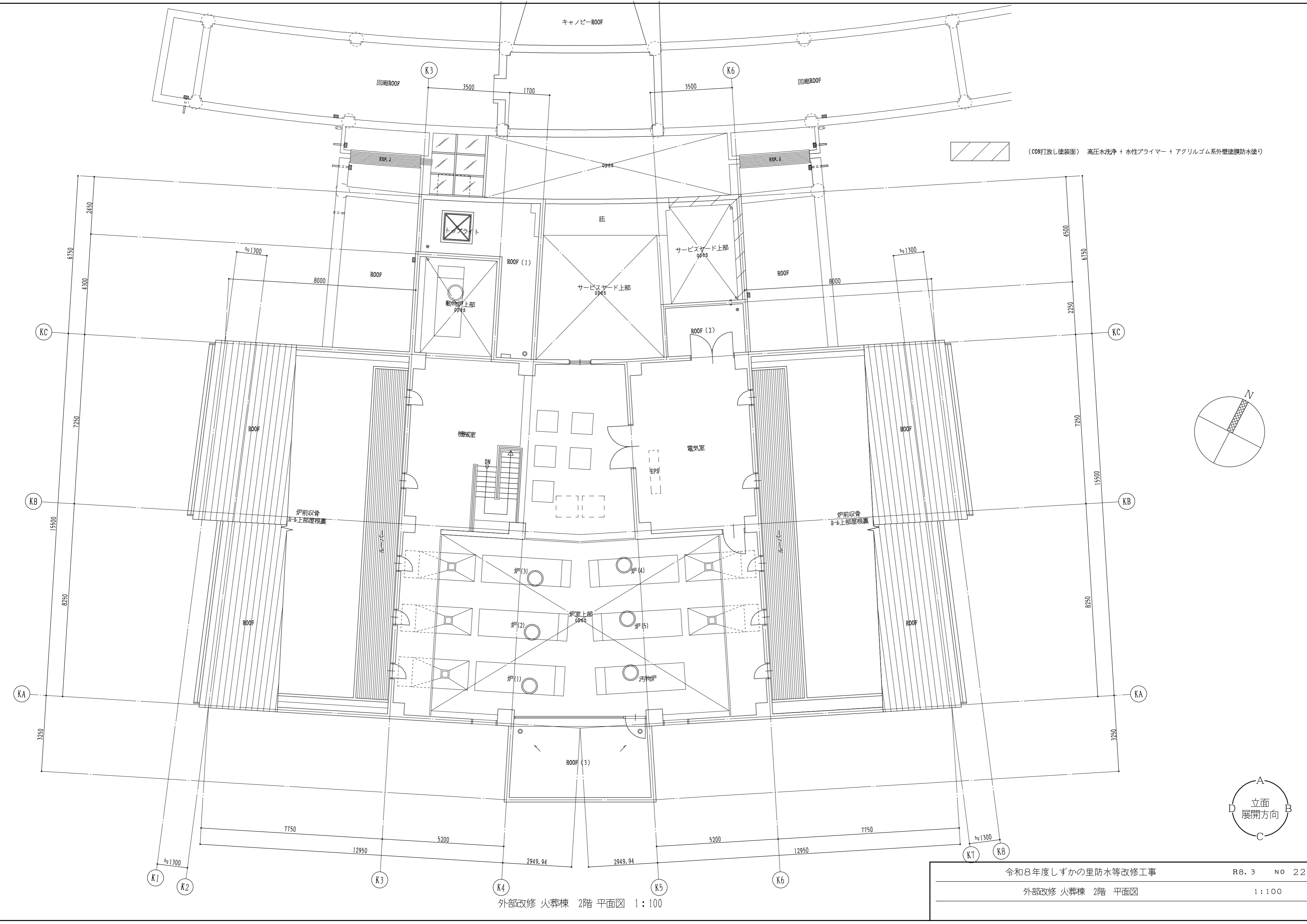
○ 床立ち照明器具、下地調整 (R8種) + 変性エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)

※ 排水溝グレーチング、沓摺マットは脱着により溝内部清掃

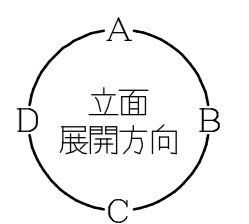
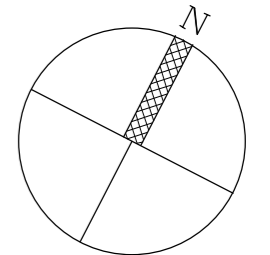
点線樹木は足場設置障害により剪定とする



外部改修 火葬棟 1階 平面図 1:100



(CON)打放し塗装面 高圧水洗浄 + 水性プライマー + アクリルゴム系外壁塗膜防水塗り



外部改修 火葬棟 2階 平面図 1:100

令和8年度しずかの里防水等改修工事

RB.3 NO.22

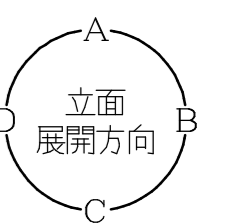
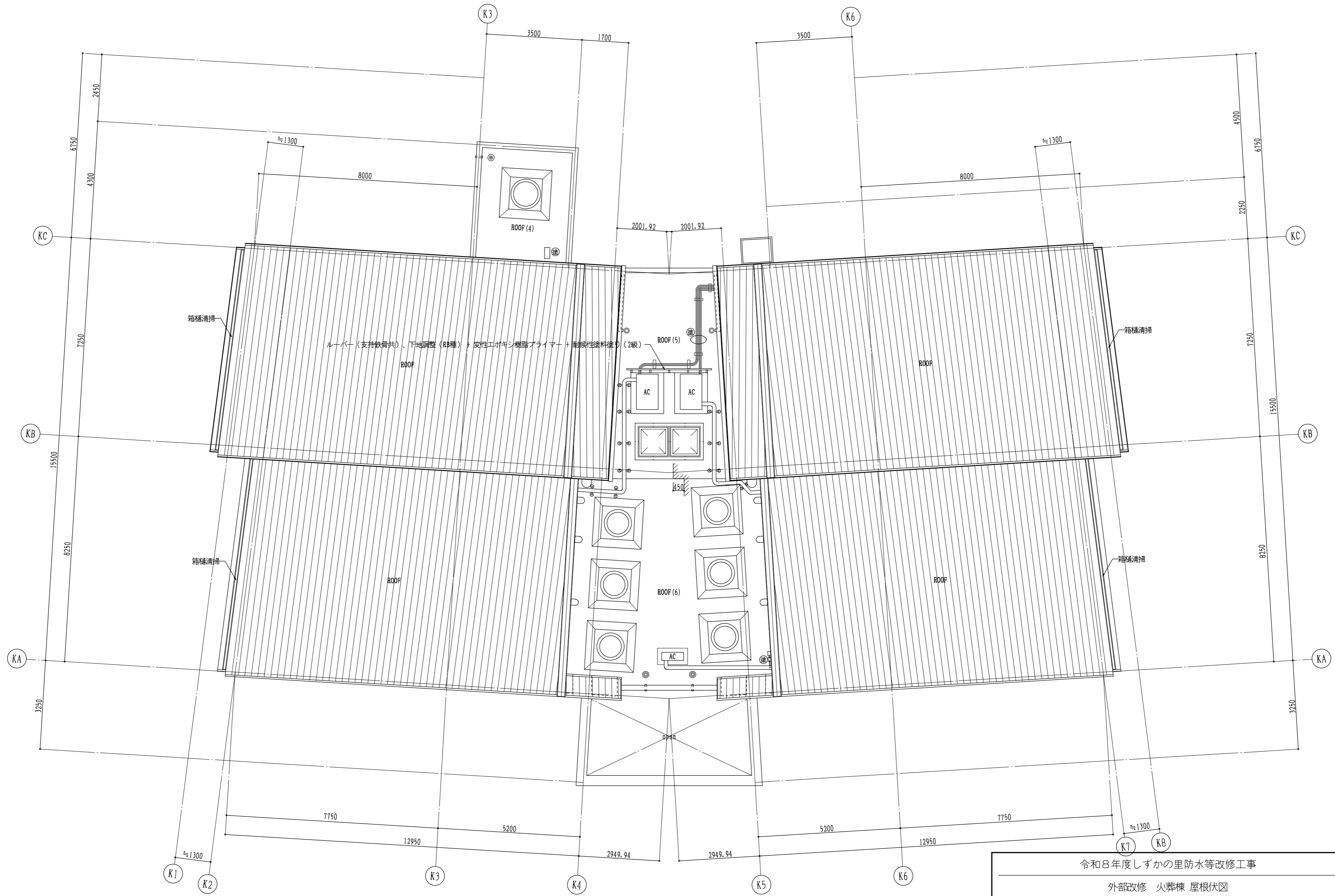
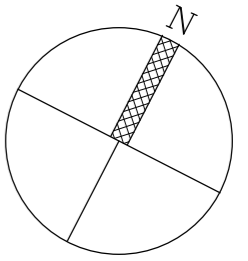
外部改修 火葬棟 2階 平面図

1:100

\* 既存フッ素樹脂塗装鋼板屋根キズ補修、0.1×0.2 クレン + エポキシさび止め + 耐候性塗料 (1級) ぼかし (待合棟、斎場棟各50ヵ所)

設備配管、下地調整 (R8種) + 変性エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)

□ アルミ製換気フード美装



外部改修 火葬棟 屋根伏図 1:100

⑤ 設備配管、下地調整 (RB種) + 変性エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)

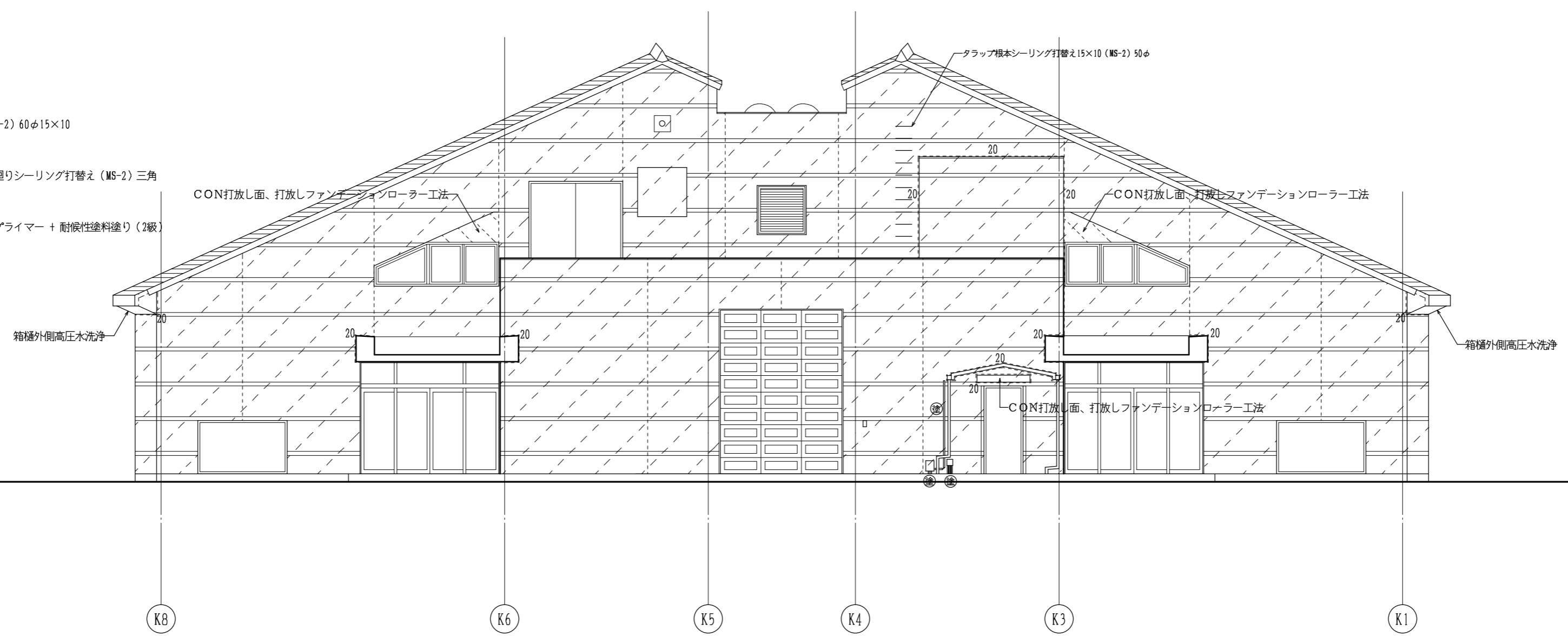
シースリング巾を示す (特記無きは10×10)

既存シースリング打替え 変成シリコン MS-2

OF オーバーフロー管周囲シースリング打替え (MS-2) 60φ15×10

換気フード、盤、フルBOX等の壁面取付部材廻りシースリング打替え (MS-2) 三角

盤、下地調整 (RB種) + 変成 エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)

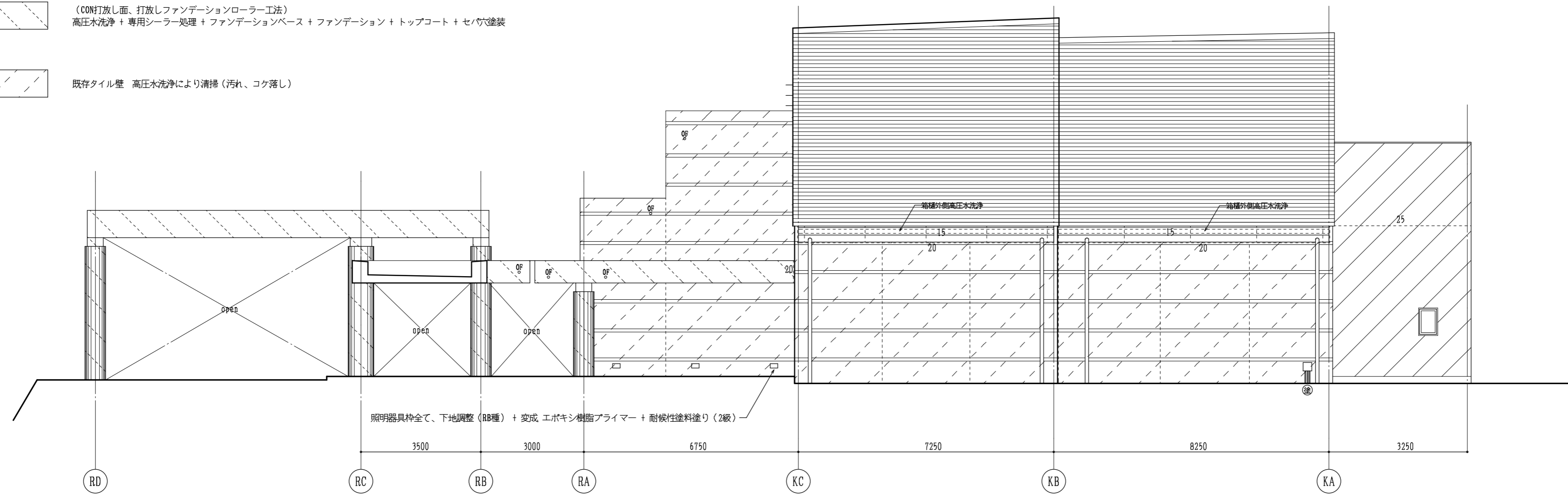


外部改修 火葬棟 北立面図 1:100 \* タイルシースリング目地は10×10

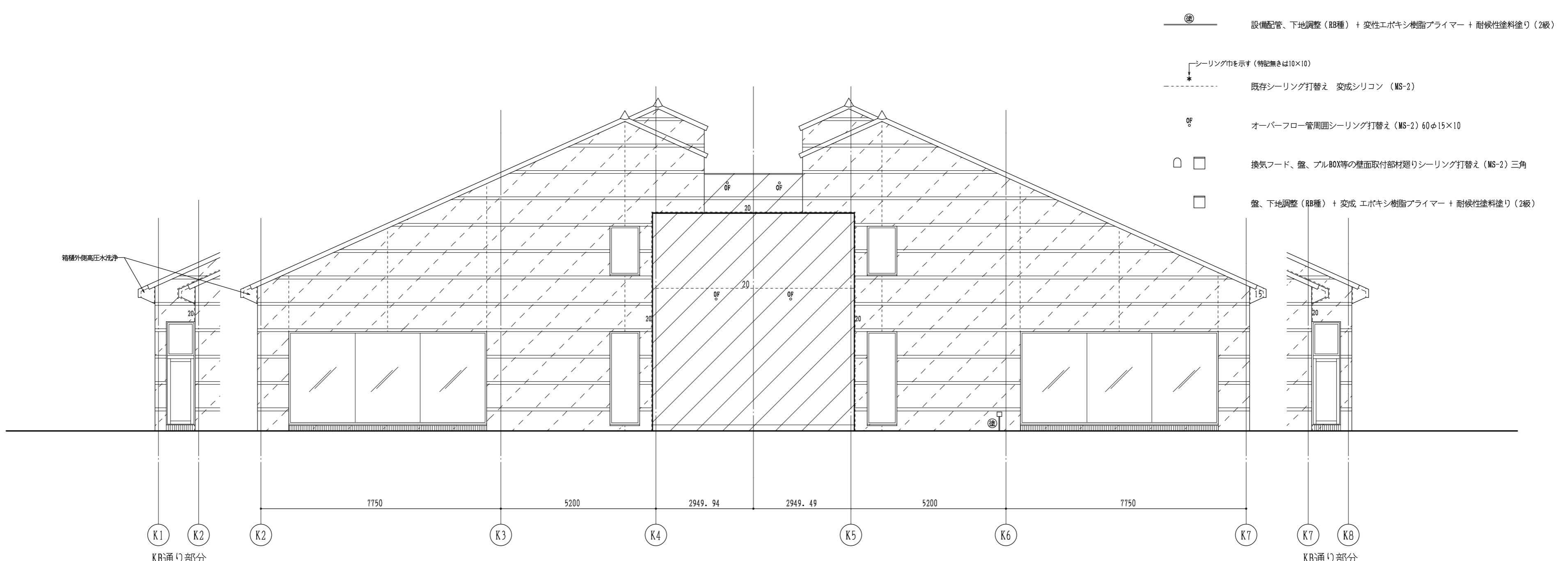
(CON打放し面、CON打放し塗装面) 高圧水洗浄 + 水性プライマー + アクリルゴム系外壁塗膜防水塗り

(CON打放し面、打放しファンデーションローラー工法) 高圧水洗浄 + 専用シーラー処理 + ファンデーションベース + ファンデーション + トップコート + セパド塗装

既存タイル壁 高圧水洗浄により清掃 (汚れ、コケ落し)

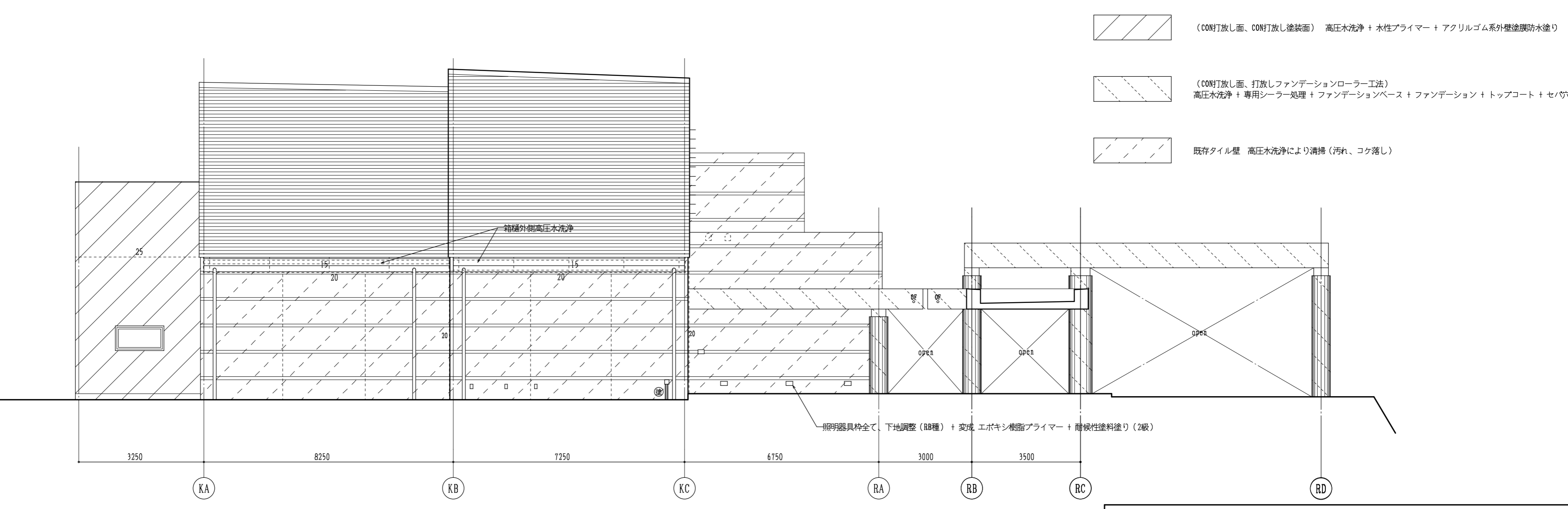


外部改修 火葬棟 西立面図 1:100 \* タイルシースリング目地は10×10



- ⑧ 設備配管、下地調整 (RB種) + 変性エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)
- シーリング巾を示す (特記無きは10×10)
- \* 既存シーリング打替え 変成シリコン (MS-2)
- OF オーバーフロー管周囲シーリング打替え (MS-2) 60φ15×10
- 換気フード、盤、プルBOX等の壁面取付部材廻りシーリング打替え (MS-2) 三角
- 盤、下地調整 (RB種) + 変成 エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)

外部改修 火葬棟 南立面図 1:100 \* タイルシーリング目地は10×10



- (CON)打放し面、CON打放し塗装面 高圧水洗浄 + 水性プライマー + アクリルゴム系外壁塗膜防水塗り
- (CON)打放し面、打放しファンデーションローラー工法 高圧水洗浄 + 専用シーラー処理 + ファンデーションベース + ファンデーション + トップコート + セバグ塗装
- 既存タイル壁 高圧水洗浄により清掃 (汚れ、コケ落とし)

照明器具枠全て 下地調整 (RB種) + 変成 エポキシ樹脂プライマー + 耐候性塗料塗り (2級)

外部改修 火葬棟 東立面図 1:100 \* タイルシーリング目地は10×10